

# 小学生の放課後の過ごし方調査 2025

---

特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール  
2025.3.12

協力：株式会社 千趣会「子育て応援基金」

1. 背景・目的 -P4
2. サマリ -P5
3. 調査概要 -P6
4. **調査結果1 就労家庭の小学生の放課後の過ごし方 (n=1200) -P8**
  - 1-1. 概要 -P9
  - 1-2. 過ごし方別の詳細（低高学年別 / 世帯年収別 / 居住地域別の内訳） -P10
5. **調査結果2 就労家庭で学童保育を利用していない小学生の放課後の過ごし方 (n=693) -P23**

※調査結果1のうち、学童保育を利用していない小学生だけに対象を絞って結果をまとめたもの

  - 2-1. 概要 -P24
  - 2-2. 過ごし方別の詳細（低高学年別/世帯年収別/居住地域別の内訳） -P25
6. **調査結果3 放課後の過ごし方についての満足度・理由 (n=1200) -P37**
  - 3-1. 放課後の過ごし方に対する子どもの満足度・理由・ニーズ -P38
  - 3-2. 子どもの放課後の過ごし方に対する保護者の課題感・ニーズ -P43
7. 示唆 -P47

## 調査の背景・目的

# 放課後に関する子どもと保護者の課題感・ニーズを知ってほしい。 ～今回のテーマは「貧困による体験格差」～

放課後NPOアフタースクールでは、安全安心で多様な体験ができる豊かな放課後を日本全国で実現するため、行政や企業と連携して全国の居場所運営者の支援を行う他、放課後の実態調査や課題の可視化、政策提言などの活動も行っています。

昨今、「**小1の壁**」や「**体験格差**」という言葉が一般的にも知られ、子どもの居場所や体験の重要性への関心が高まりつつあります。そんななか、放課後児童クラブの待機児童数は1.7万人超に増加し、この春もSNSでは「**#学童落ちた**」という投稿が多数発信されるなど、小学生の放課後にまつわる問題を訴える保護者の声は後を絶ちません。

こども家庭庁においては、2023年12月に閣議決定された「こどもの居場所づくりに関する指針」を軸に、多様な子どもの居場所づくりに注力していく方針が示されています。また、「放課後児童対策パッ

ケージ2025」において、「**全てのこどもが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる場所の拡充は、引き続き喫緊の課題**」とした上で、量・質ともに対策をさらに拡充する方針を打ち出しています。

一方で、放課後の課題解決が進むためには、行政だけでなく、企業やNPO、地域市民など立場を越えた連携が重要ですが、それが十分に進んでいるとは言えない状況が日本全国にあります。

### なぜ解決に向けた取り組みが進まないのか？

その大きな要因の一つとして、**子どもたちの放課後の過ごし方について実態の把握が十分ではないこと**、また、**子どもと保護者の課題感・ニーズが社会的に十分理解されていないこと**があると考えています。

そのような背景から、近年、私たちは小学生の放課後に関する調査に取り組んでいます。

2023年11月には「[小学生の放課後の過ごし方に関する調査](#)」において、現代の小学生が「**友達と遊びたいのに、遊べない**」状況にあることを問題提起しました。また、2024年3月の「[放課後児童クラブ利用に関するWEBアンケート調査](#)」では、放課後児童クラブが子どもにとって「**行きたくない**」場所になってしまっているケースが全国に多数ある現状を問題提起しました。

それに続き、今回は「**貧困による体験格差**」が注目されつつある流れを受けて、小学生の放課後の過ごし方について、世帯年収別の分析を加えた実態調査を行うことにしました。

今回の調査をきっかけに、放課後の課題の理解が進み、より本質的な解決策につながっていくことを期待しています。



代表理事 平岩国泰

# 今回の調査から見えた重要なポイント

※本調査結果においては、放課後児童クラブを「学童保育」と表記します。  
※本調査では、共働きまたはひとり親で自身が就労している家庭を就労家庭と表記します。

1 就労家庭の小学生で習い事をしている割合は61.6%を占める一方で、年収300万円未満では69.2%が習い事なし。また、低所得層では、友達と遊ぶ機会が全くない子どもが52.3%を占め、友達と遊ぶ頻度が少ないだけでなく、自宅での過ごし方や友達と遊ぶ場所のバリエーションも少ない傾向がうかがえた。つまり、家庭の経済状況による体験の格差は、習い事だけでなく遊びの選択肢にも影響していることが推察される。

さらに、低所得層の子どもは祖父母や親戚の家で過ごす割合も少なく、日常的な親以外の大人との関わりやサポートの少なさが子どもの体験の差に影響している可能性も推察される。

2 放課後の過ごし方に対する子どものニーズは、「もっと遊びたい」「友達と遊びたい」「自由に過ごしたい」現状それができていない、特に「遊べる時間・場所が少ない」ことへの不満が多くあがった。

3 子どもの放課後に対する保護者の課題感・ニーズは、「子どもが安心・安全に遊べる場所、見守り等のサービスがほしい」「体験や習い事をさせてあげたい（のに、現状できていない）」「学童保育の仕組みや質を改善してほしい」

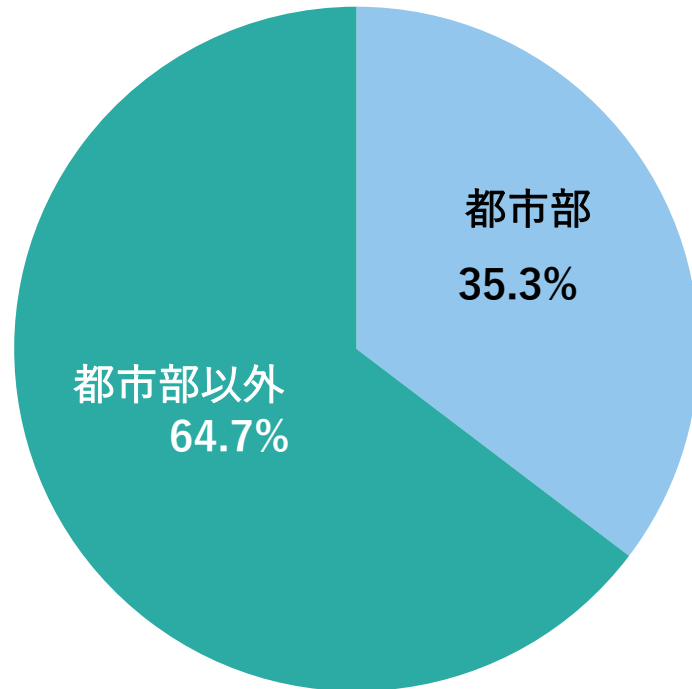
対象者	小学生の子どもをもつ就労家庭（共働きまたはひとり親家庭で自身が就労している） の男女
対象地域	（一部、子ども向けの設問は、保護者が子どもに聞いて回答する形式）
調査期間	全国
調査方法	2025年1月17日～18日
有効回答数	インターネットアンケート調査会社のモニターを利用したWEB調査
調査項目	1,200人 <ul style="list-style-type: none"><li>・年齢、性別、就労形態、居住地（都道府県）、子どもの学年</li><li>・放課後の過ごし方とその頻度</li><li>・長期休みの過ごし方とその頻度</li><li>・放課後の過ごし方に対する子どもの満足度とその理由</li><li>・子どもの放課後の過ごし方に対する保護者の満足度とその理由</li></ul>

## 調査概要：回答者の構成

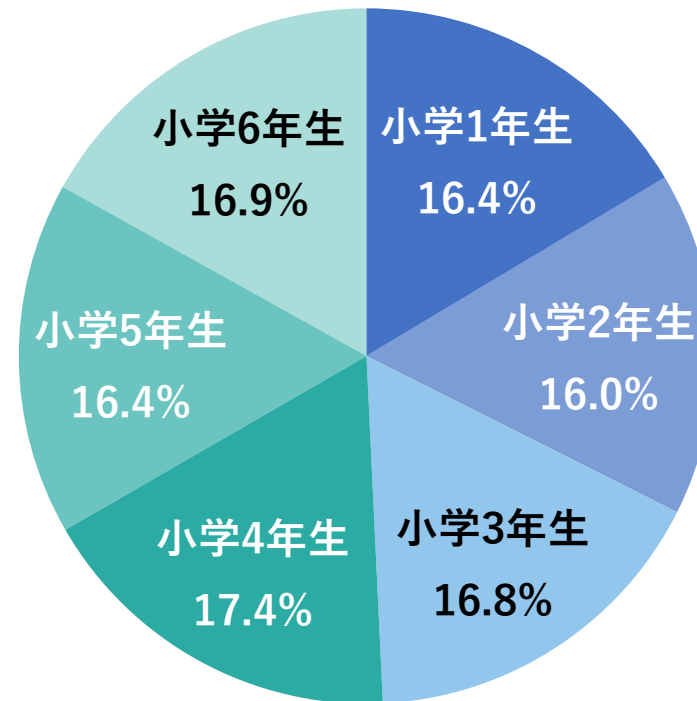
回答者の居住地、子どもの学年、世帯年収の割合は以下の通り。

居住地(N=1200)

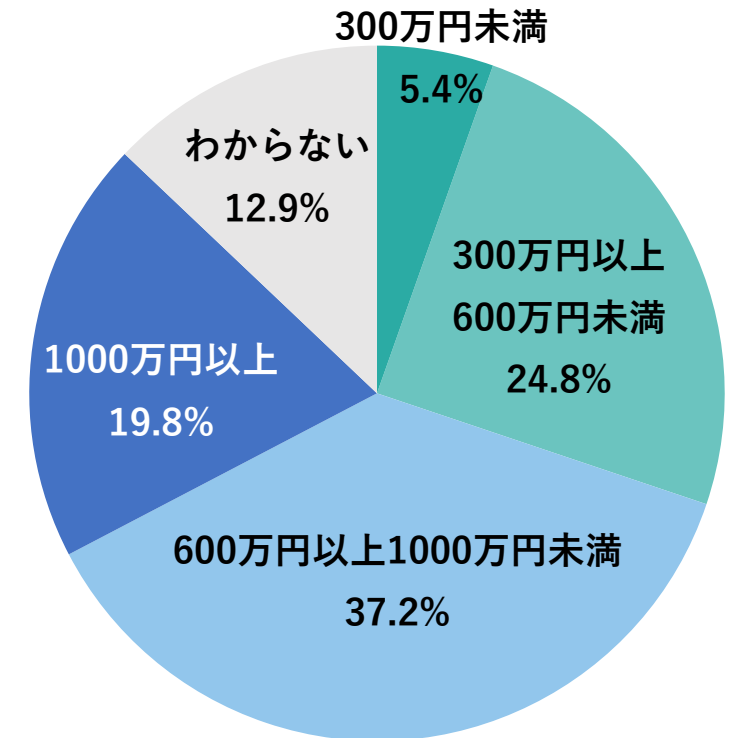
■ 都市部（東京23区または政令指定都市） ■ 都市部以外



小学生の子どもの学年 (N=1200)



世帯年収(N=1200)



「わからない」を除く回答数：1045

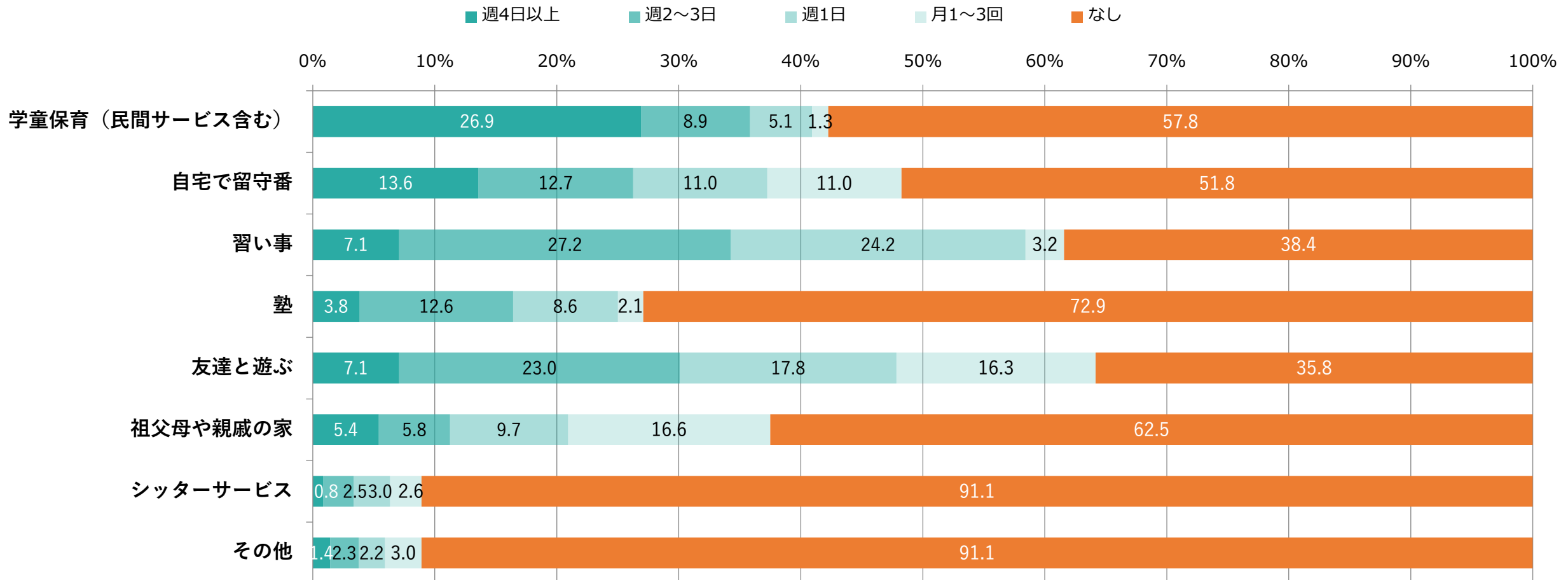
## 調査結果1

就労家庭 の小学生 (n=1200)  
の放課後の過ごし方

## 調査結果1-1：就労家庭の小学生の放課後の過ごし方概要 (n=1200)

週4日以上で見ると、「学童保育(26.9%)」が最多、次いで「自宅で留守番(13.6%)」  
 週2日以上で見ると、「学童保育(35.8%)」が最多、次いで「習い事(34.3%)」  
 週1日以上で見ると、「習い事(58.5%)」が最多、次いで「友達と遊ぶ(47.9%)」

お子さまの放課後の過ごし方と頻度に当てはまるものを選択してください。(n=1200)

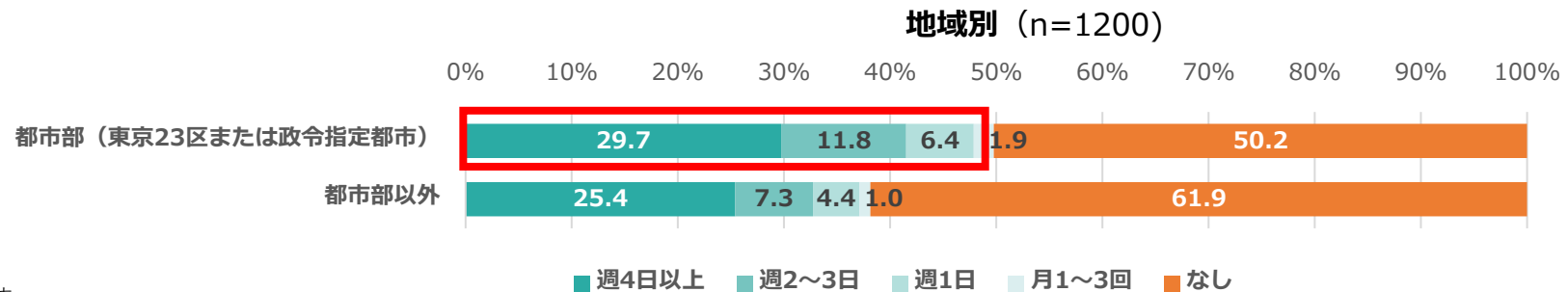
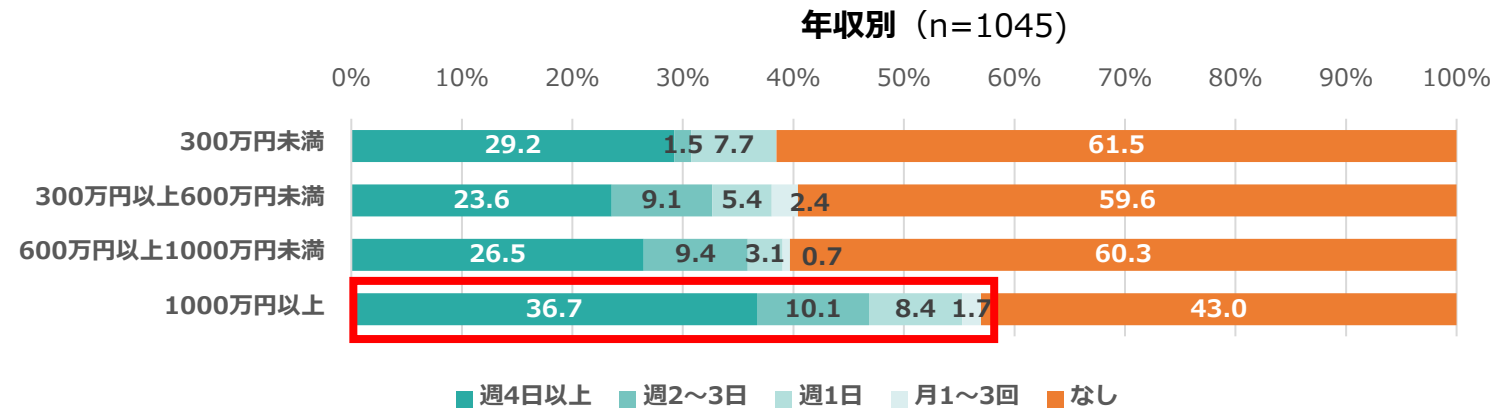
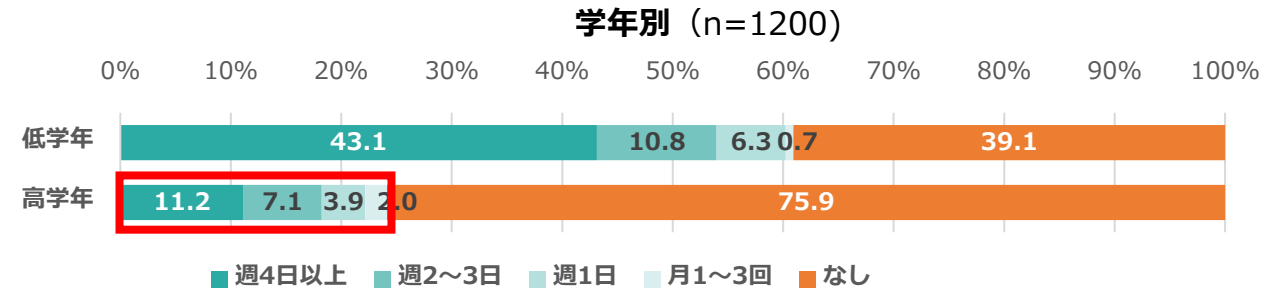
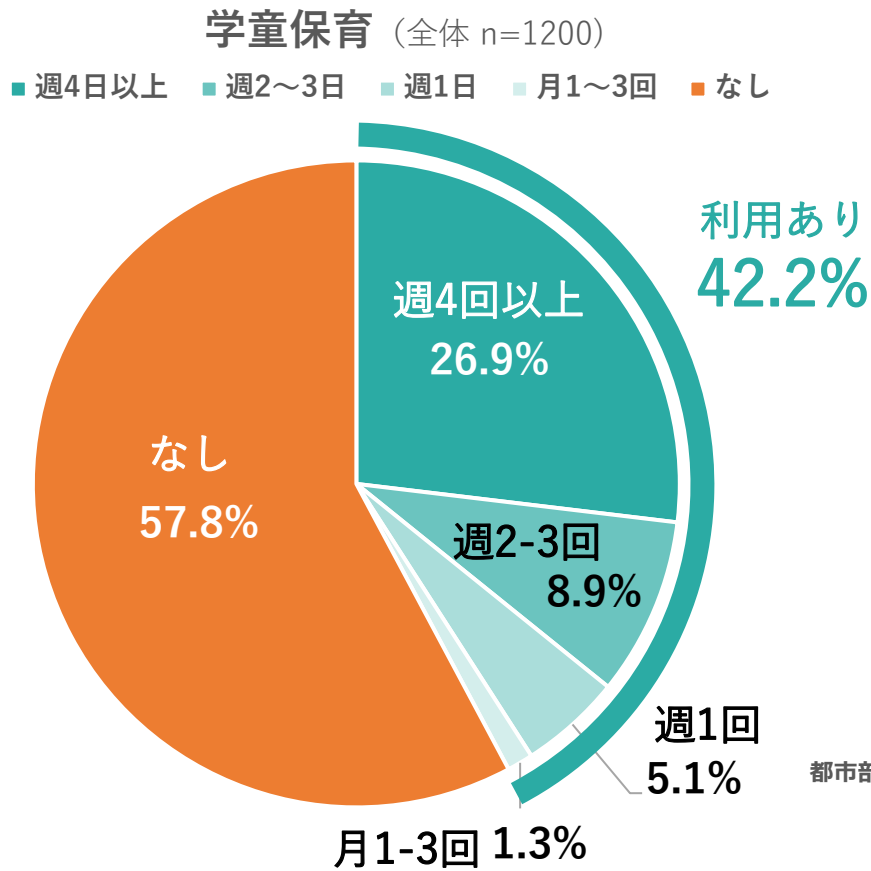


※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。



## 調査結果1-2：①学童保育の利用頻度 | 就労家庭の小学生(n=1200)

就労家庭で学童保育の利用率は全体で42.2%、うち週4回以上が26.9%。  
低学年の6割以上が利用、高学年では3割未満。年収1000万円以上、都市部で頻度が多い傾向。



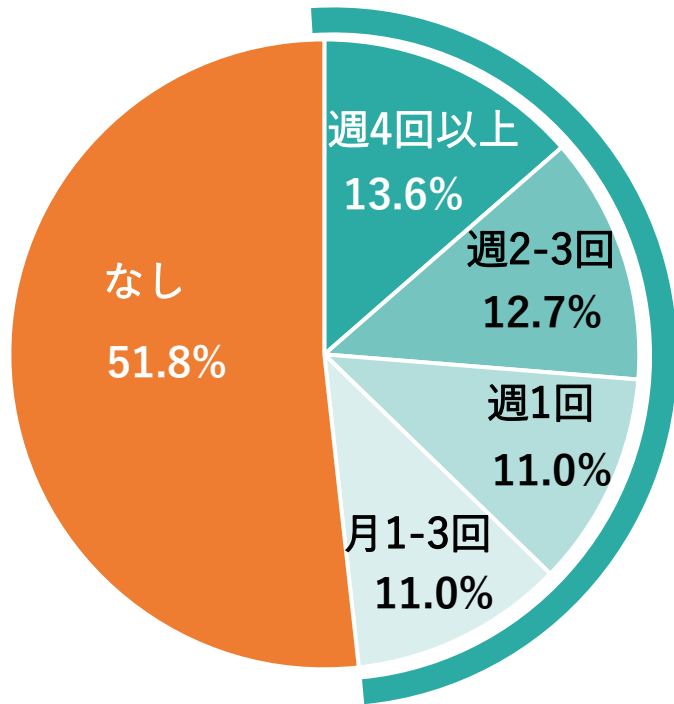
※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

## 調査結果1-2：②-1.自宅で留守番する頻度 | 就労家庭の小学生(n=1200)

自宅で留守番をしている小学生は、全体で48.2%。うち週4回以上が13.6%  
高学年になると頻度が増え、週4回以上が約2割、週1回以上が約半数。また、都市部で頻度が多くなる傾向。

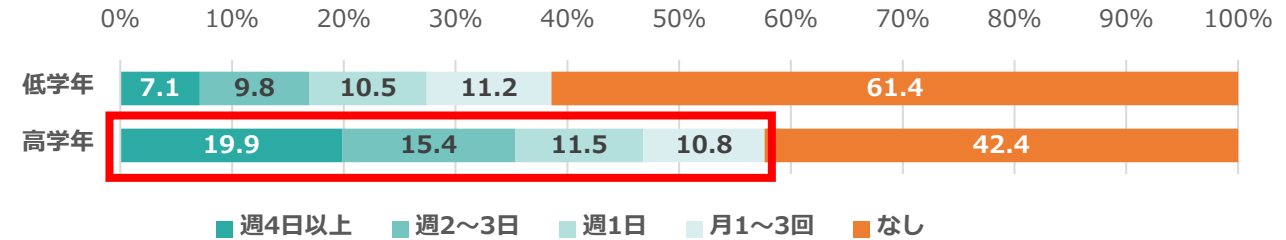
自宅で留守番 (全体 n=1200)

■ 週4日以上 ■ 週2~3日 ■ 週1日 ■ 月1~3回 ■ なし

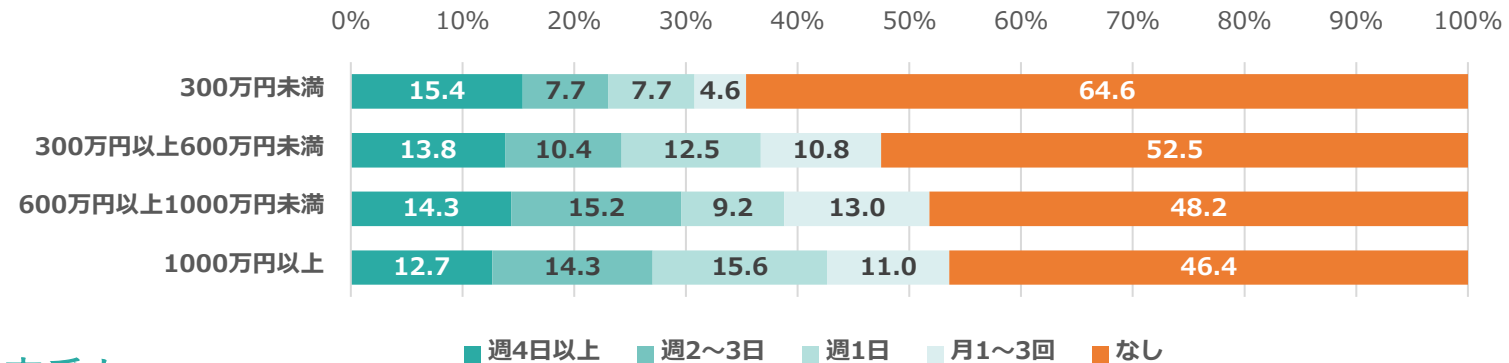


自宅で留守番あり  
48.2%

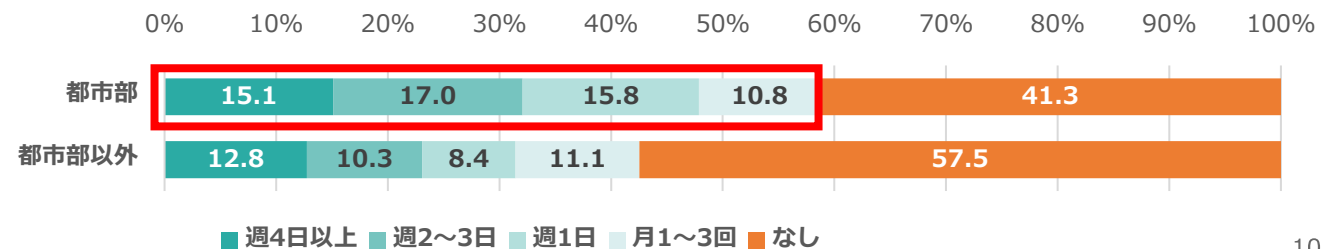
学年別



年収別 (n=1045)



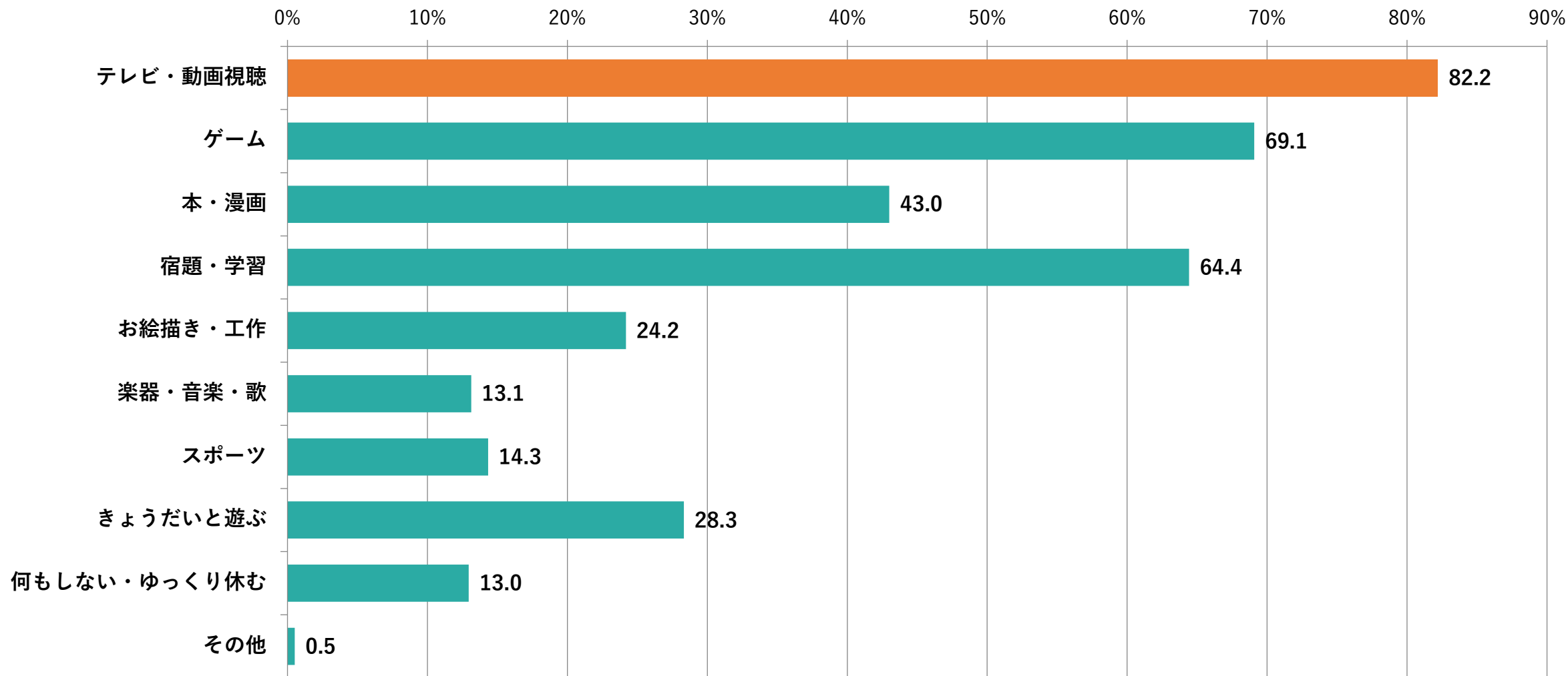
地域別



※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

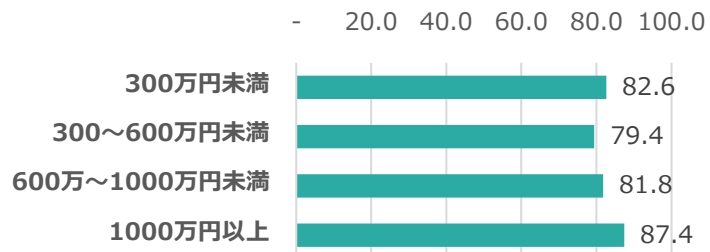
「テレビ・動画視聴(82.2%)」が最多、ついで「ゲーム(69.1%)」、「宿題・学習(64.4%)」

ご自宅で留守番する際の過ごし方についてあてはまるものを全て教えてください。(N=579)

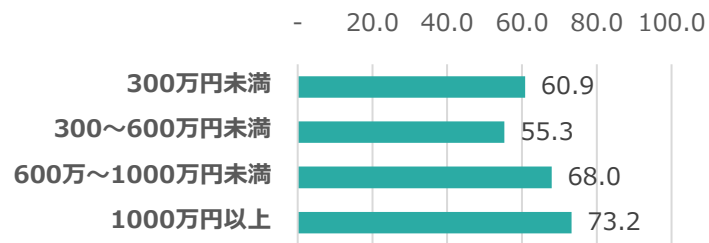


年収300万円未満の家庭の子どもは、自宅での過ごし方のバリエーションが少ない傾向がうかがえる。

テレビ・動画視聴



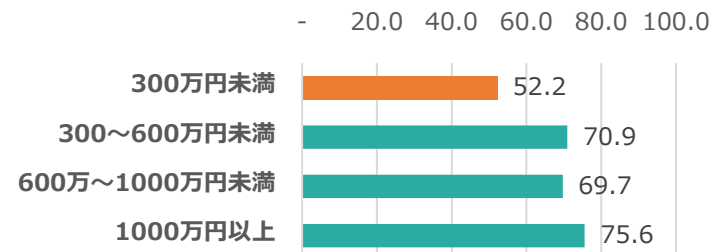
宿題・学習



スポーツ



ゲーム



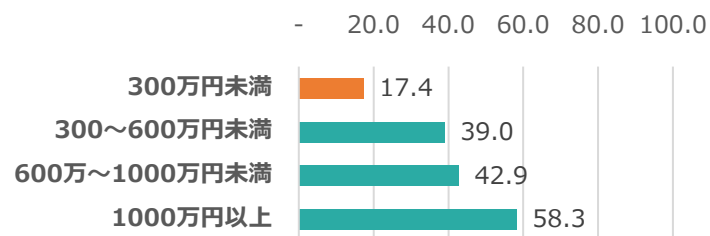
お絵描き・工作



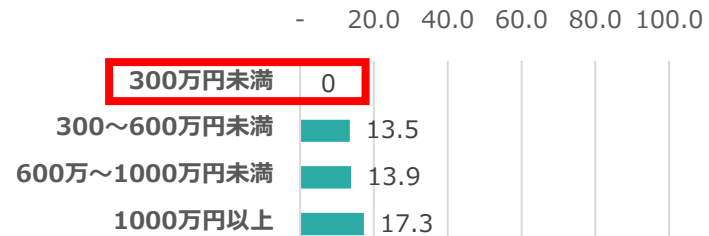
きょうだいと遊ぶ



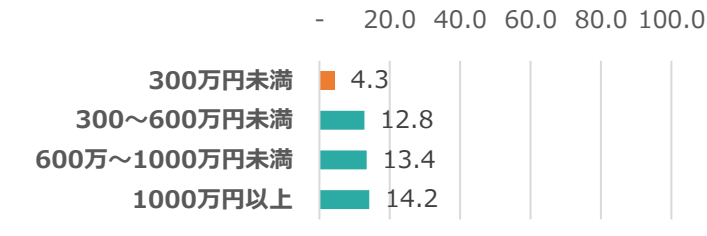
本・漫画



楽器・音楽・歌

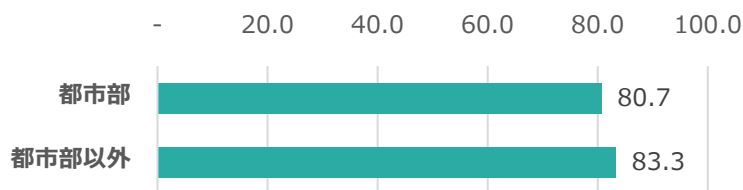


何もしない・ゆっくり休む

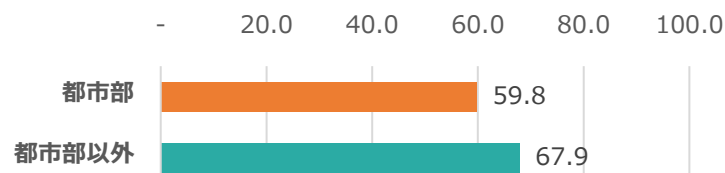


「宿題・学習」は、都市部に比べ、都市部以外で頻度が多い傾向が伺える。  
一方、「スポーツ」「本・漫画」「楽器・音楽・歌」は、都市部以外の方が少ない傾向がうかがえる。

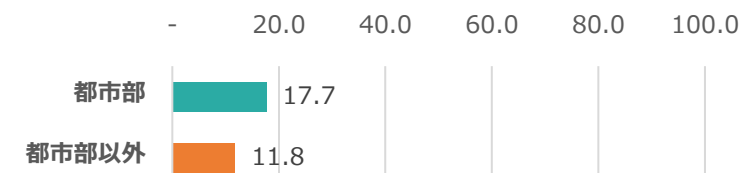
テレビ・動画視聴



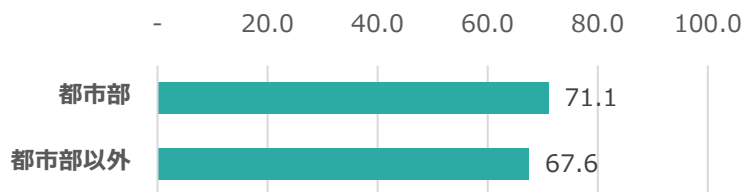
宿題・学習



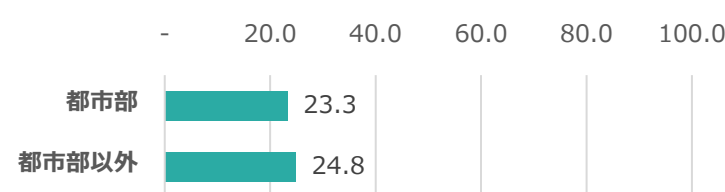
スポーツ



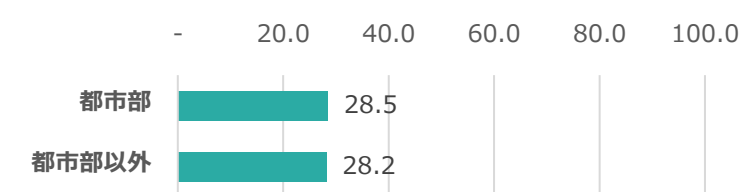
ゲーム



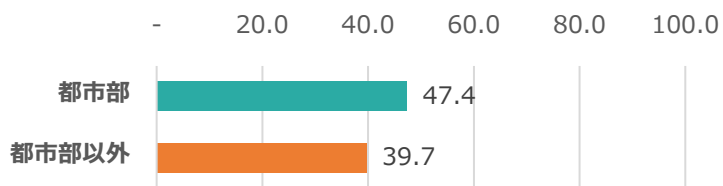
お絵描き・工作



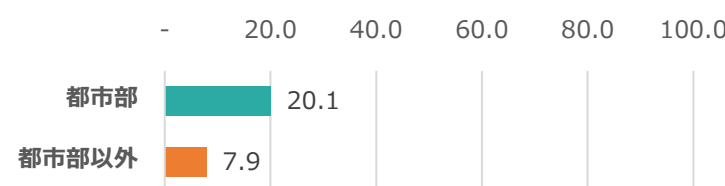
きょうだいと遊ぶ



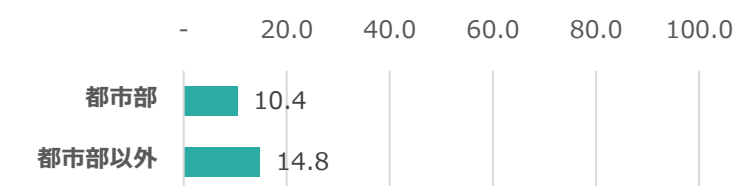
本・漫画



楽器・音楽・歌

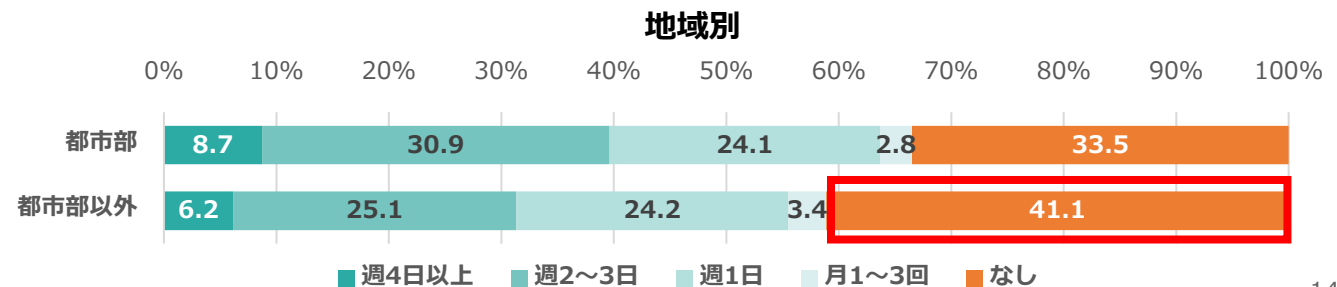
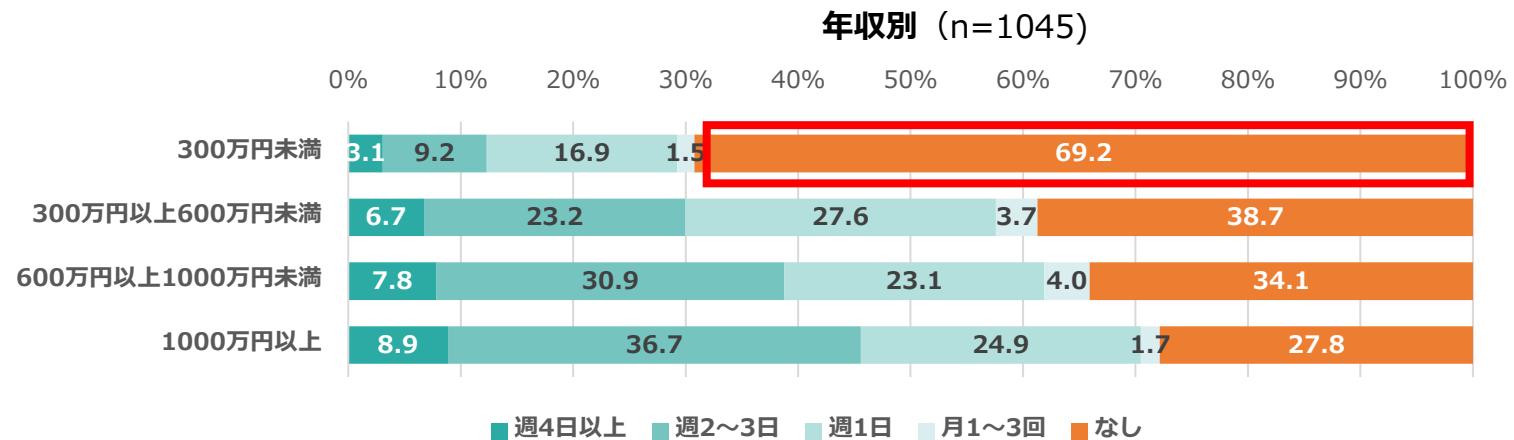
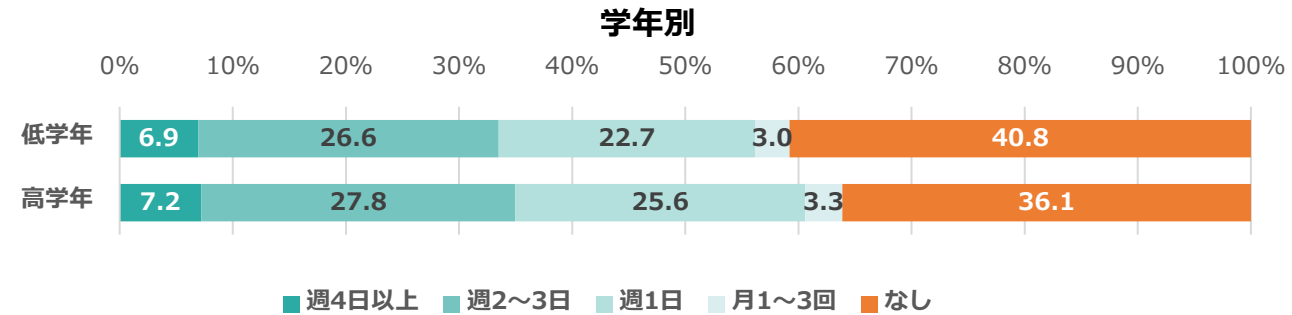
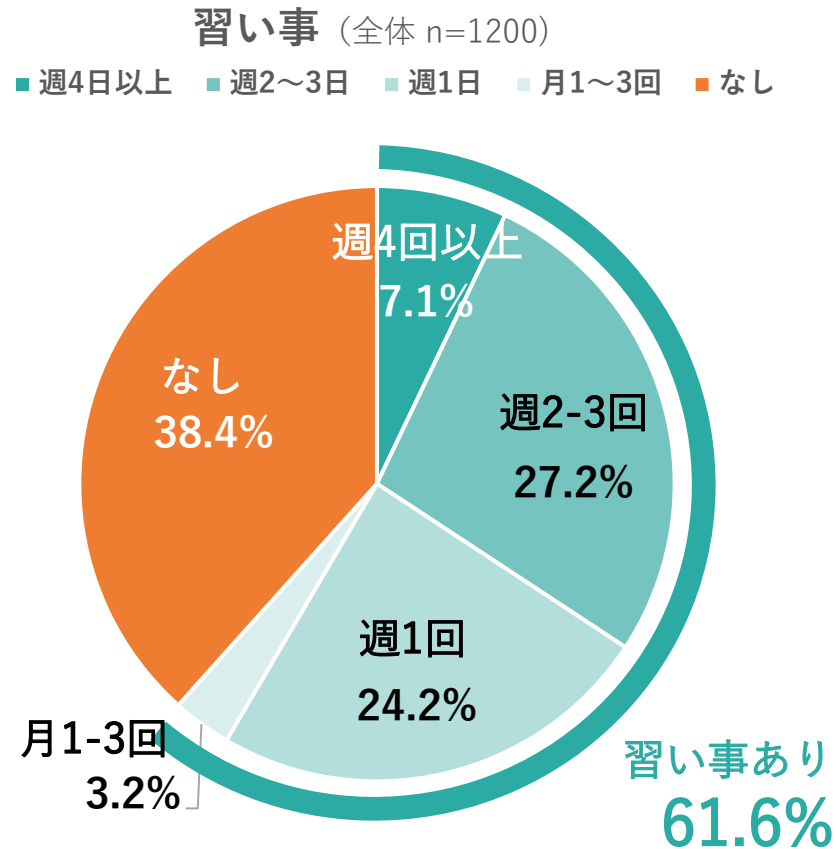


何もしない・ゆっくり休む



## 調査結果1-2：③習い事 | 就労家庭の小学生(n=1200)

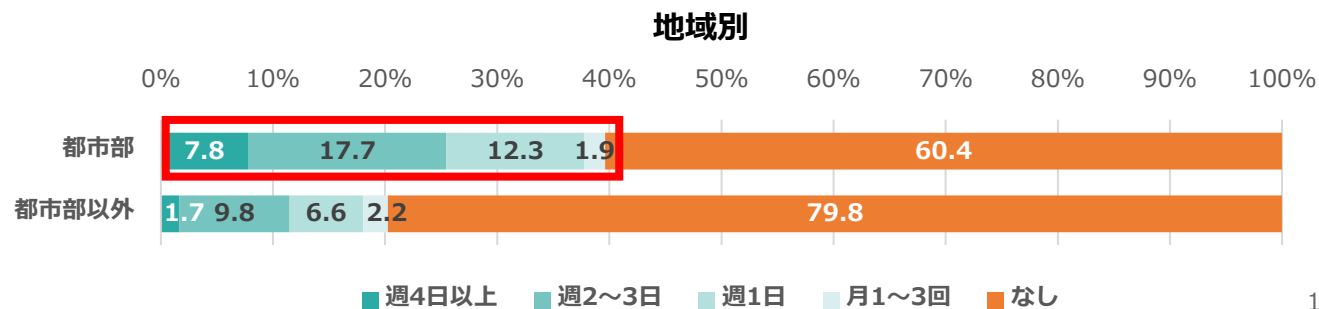
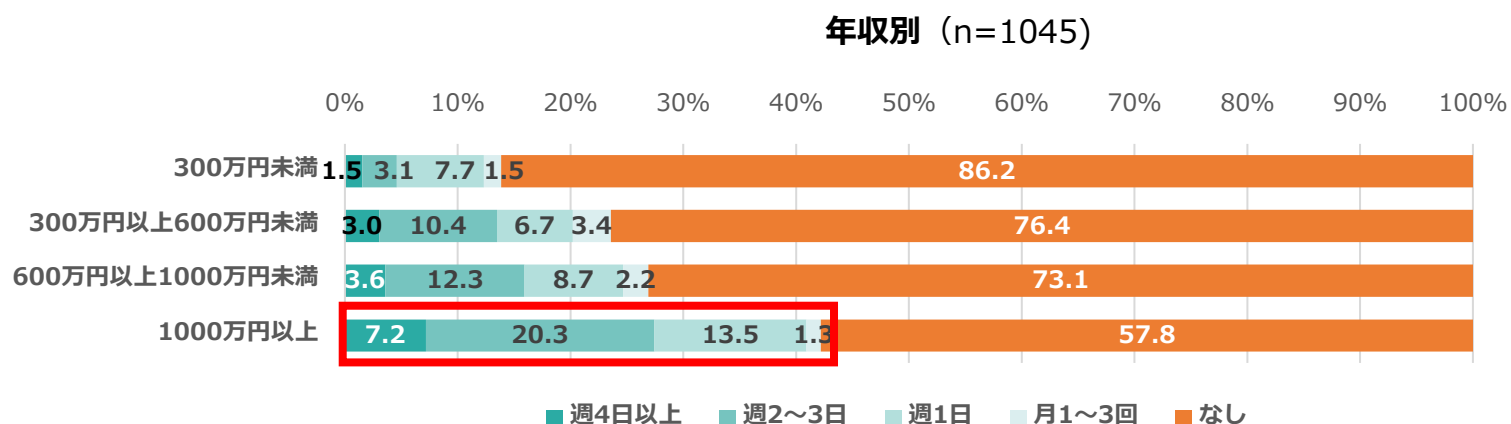
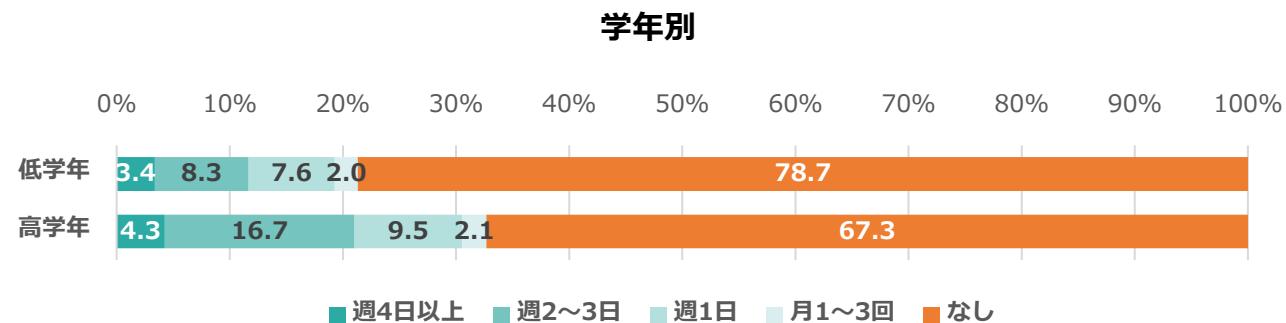
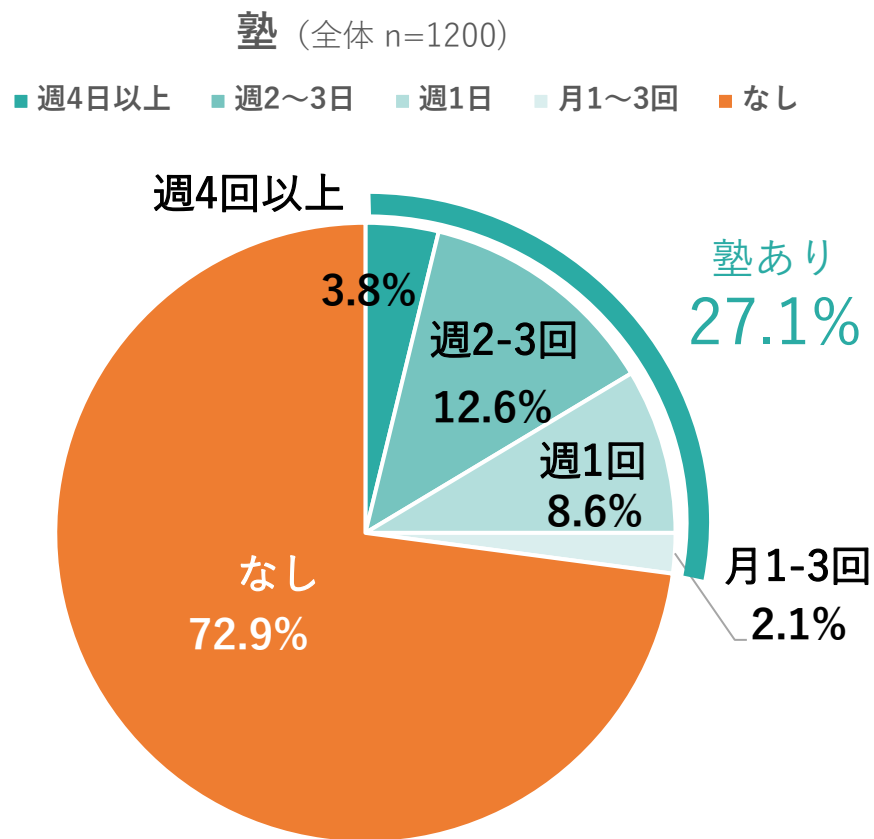
習い事をしている割合は全体で61.6%。年収300万円未満では「なし(69.2%)」が著しく多い。また、都市部に比べ、都市部以外で頻度が少ない傾向がうかがえる。



※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

# 調査結果1：④塾 | 就労家庭の小学生(n=1200)

塾に通っている割合は全体で27.1%。頻度は週2-3回(12.6%)が最多。年収1000万円以上、都市部で多い傾向。



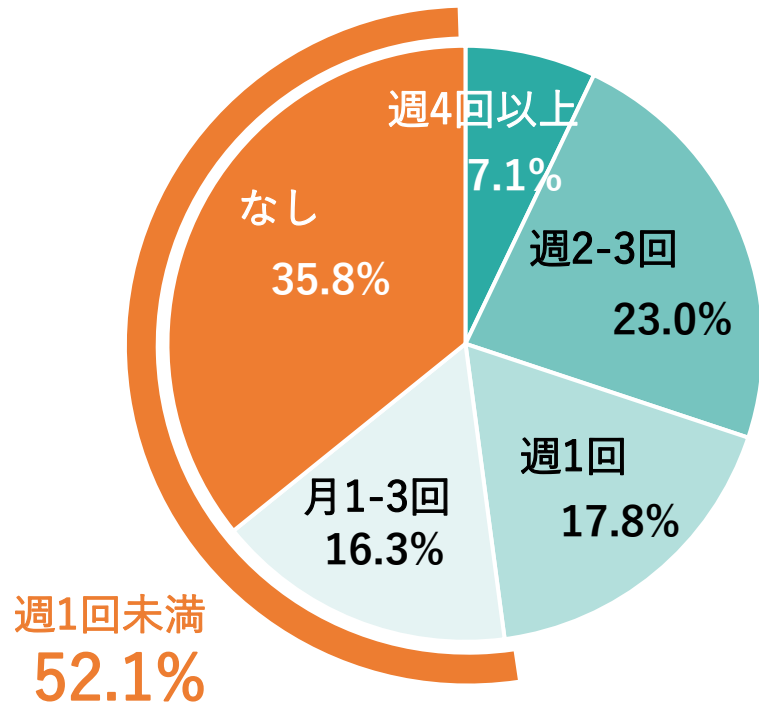
※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

## 調査結果1：⑤-1.友達と遊ぶ | 就労家庭の小学生(n=1200)

友達と遊ぶ頻度は、全体で週1回未満が52.1%。年収別に見ると300万円未満で「なし(52.3%)」が著しく多い。また、地域別では、都市部に比べ、都市部以外で友達と遊ぶ頻度が少ない傾向がうかがえる。

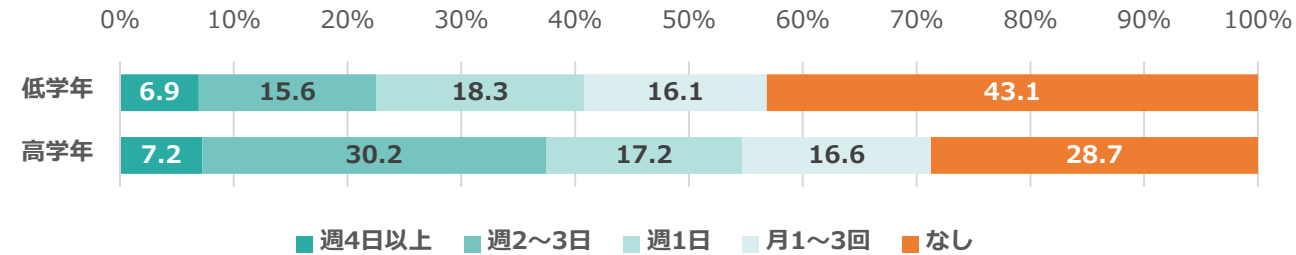
友達と遊ぶ (全体 n=1200)

■ 週4日以上 ■ 週2~3日 ■ 週1日 ■ 月1~3回 ■ なし

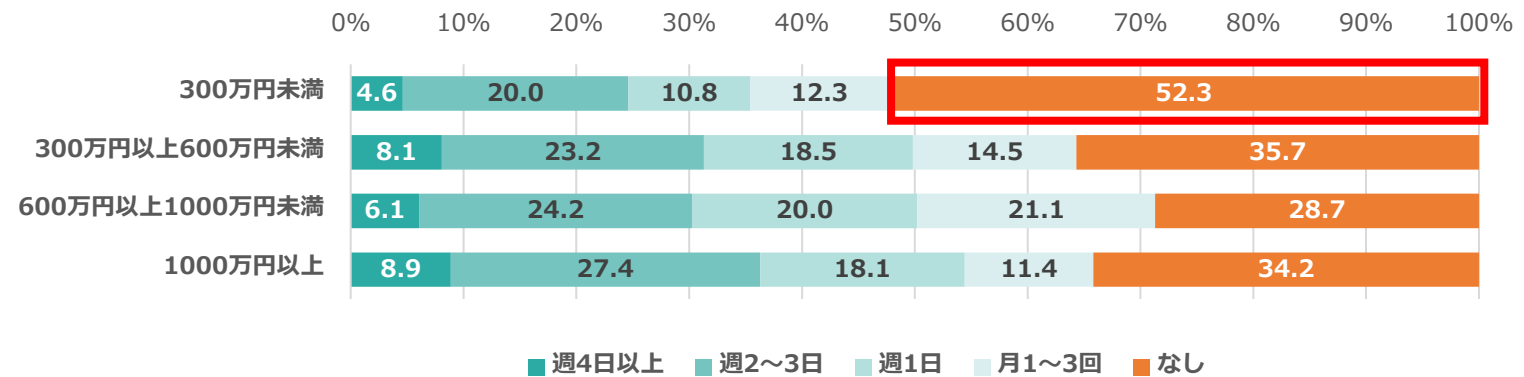


※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

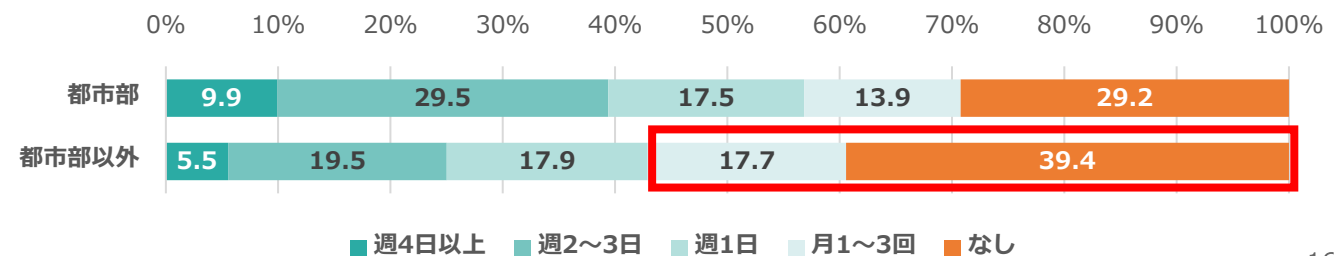
学年別



年収別 (n=1045)



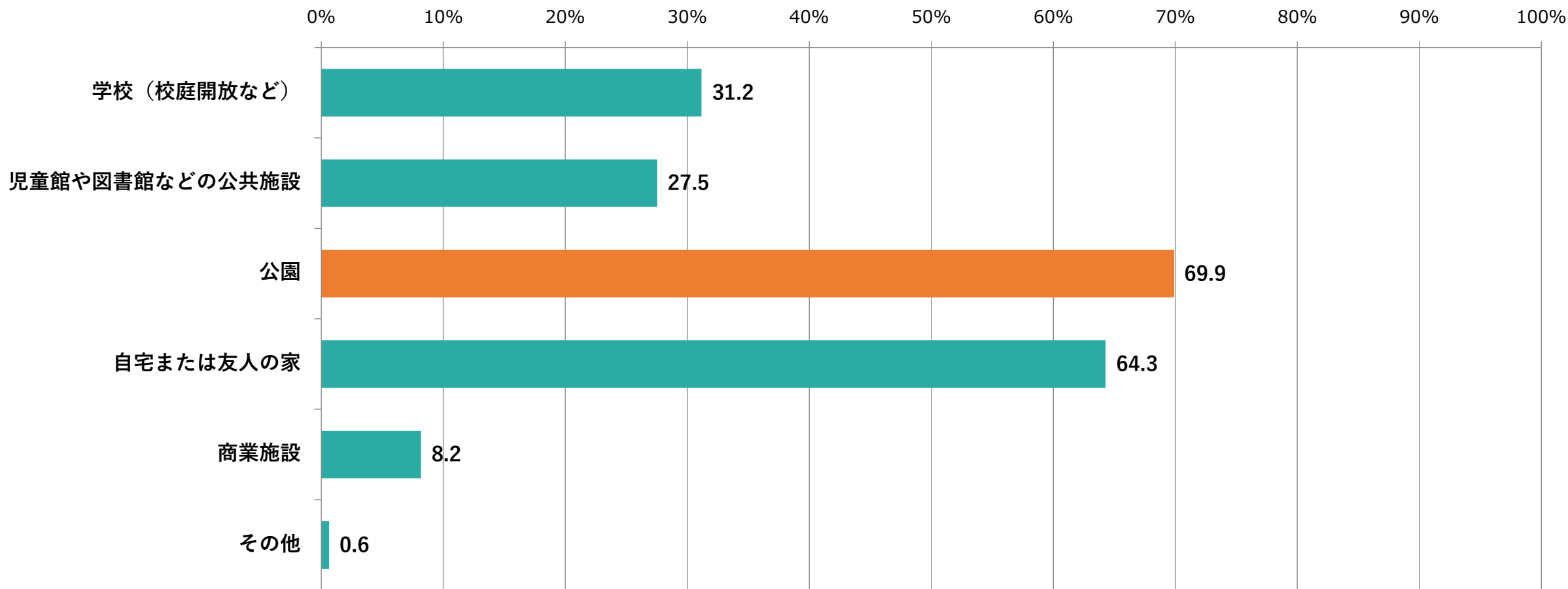
地域別





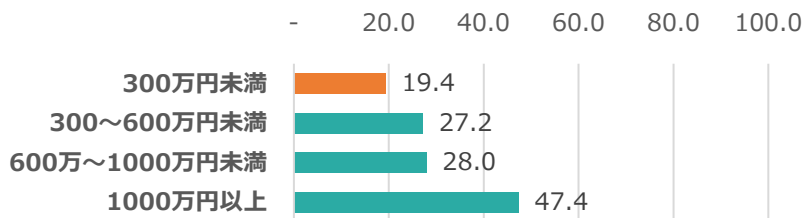
友達と遊ぶ場所は、全体で見ると「公園(69.9%)」が最多、次いで「自宅または友達の家(64.3%)」

お子さまが友達と遊ぶ場所についてあてはまるものをすべて教えてください。(n=770)

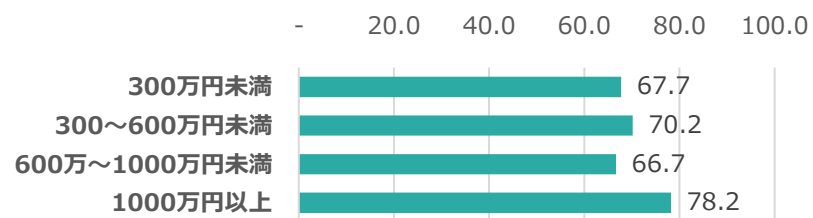


友達と遊ぶ場所を年収別に見ると、300万円未満では学校や公共施設が少なく、遊ぶ場所のバリエーションが少ない傾向がうかがえる。

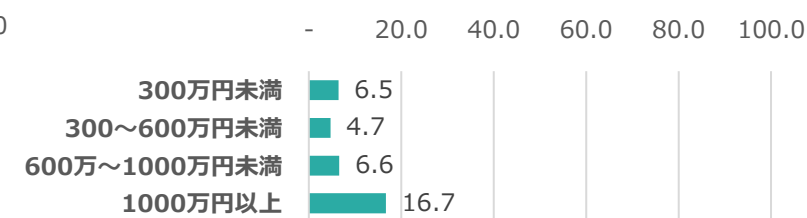
学校（校庭開放など）



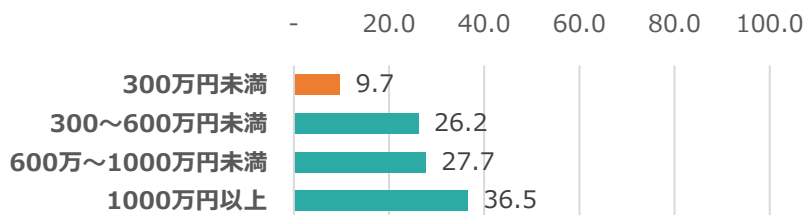
公園



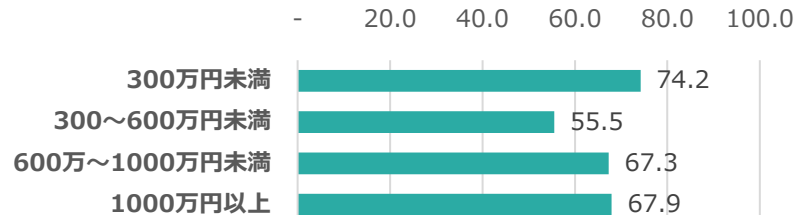
商業施設



児童館や図書館などの公共施設



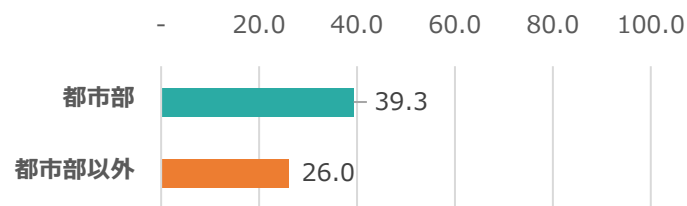
自宅または友人の家



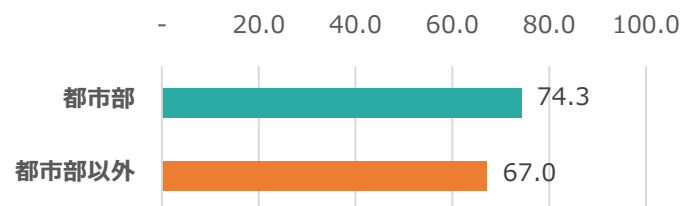
「わからない」を除く回答数：696

友達と遊ぶ場所を地域別に見ると、都市部に比べ都市部以外で学校・公共施設・公園が少ない。

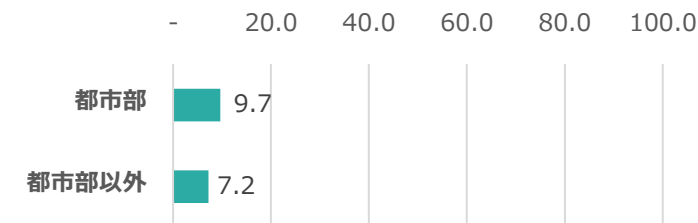
### 学校（校庭開放など）



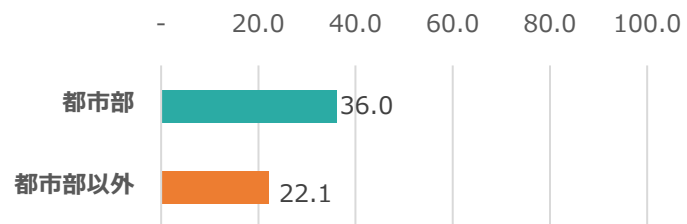
### 公園



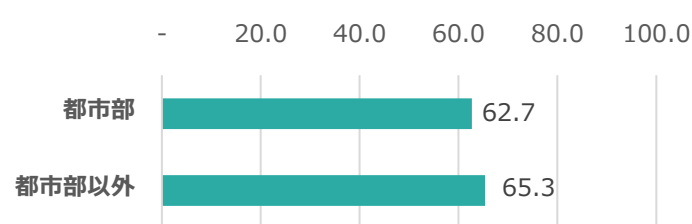
### 商業施設



### 児童館や図書館などの公共施設



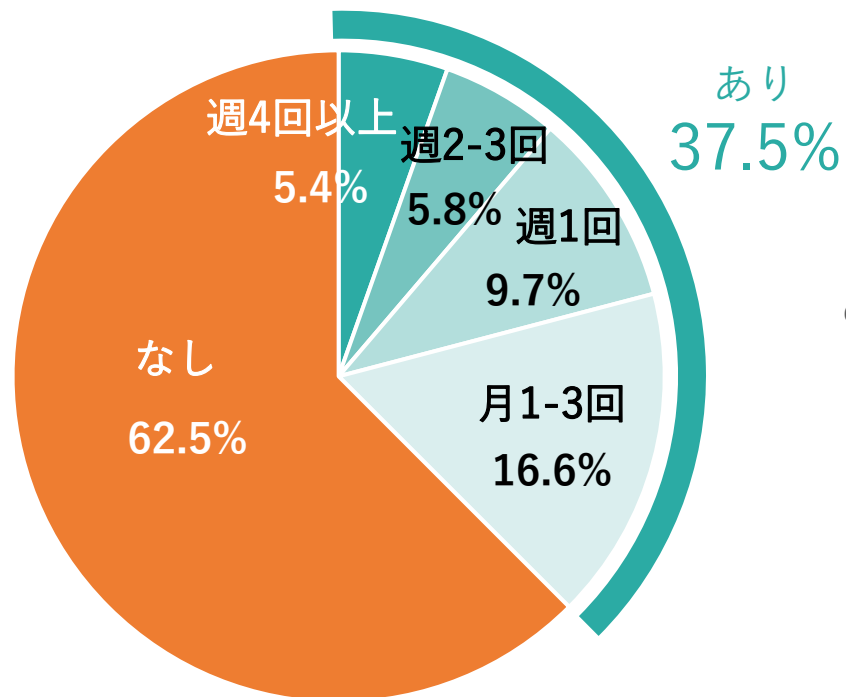
### 自宅または友人の家



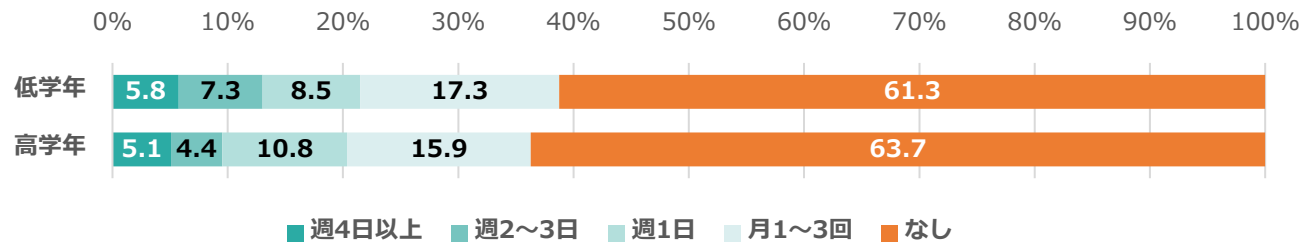
祖父母や親戚の家で過ごす割合は、全体で37.5%。年収別に見ると300万円未満で「なし（76.9%）」が多い。

祖父母や親戚の家

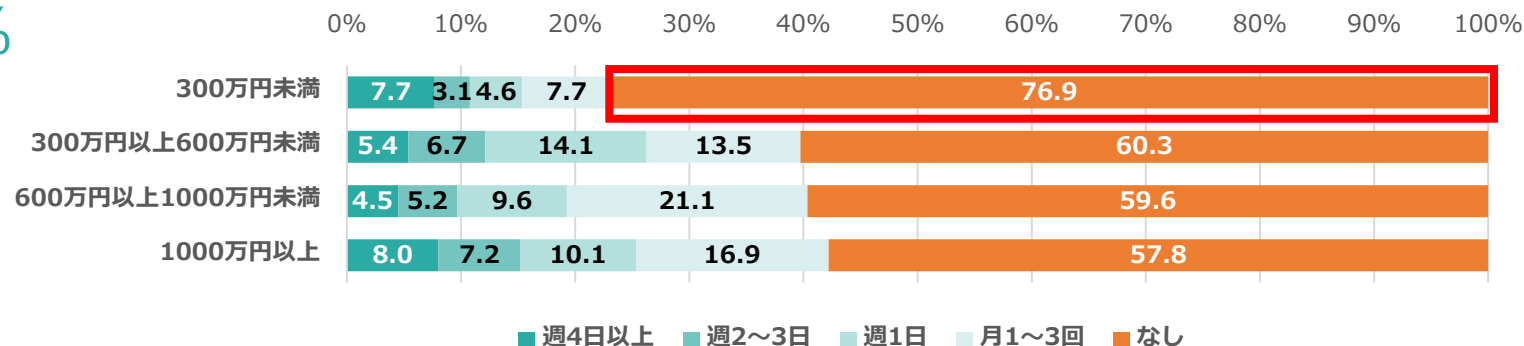
■ 週4日以上 ■ 週2～3日 ■ 週1日 ■ 月1～3回 ■ なし



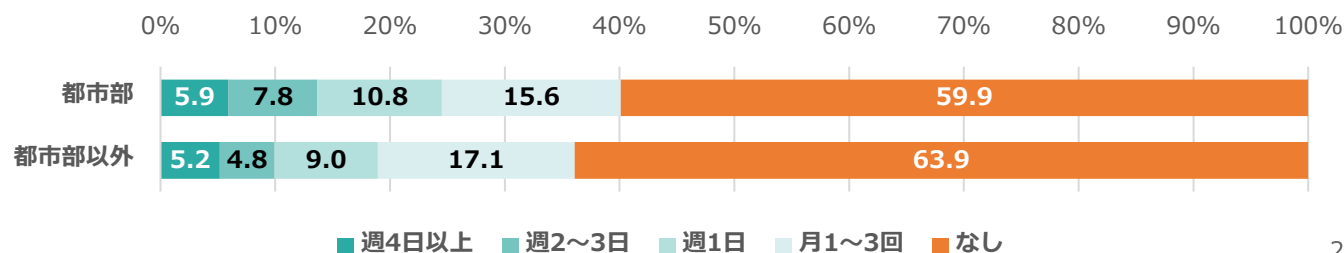
学年別



年収別 (n=1045)



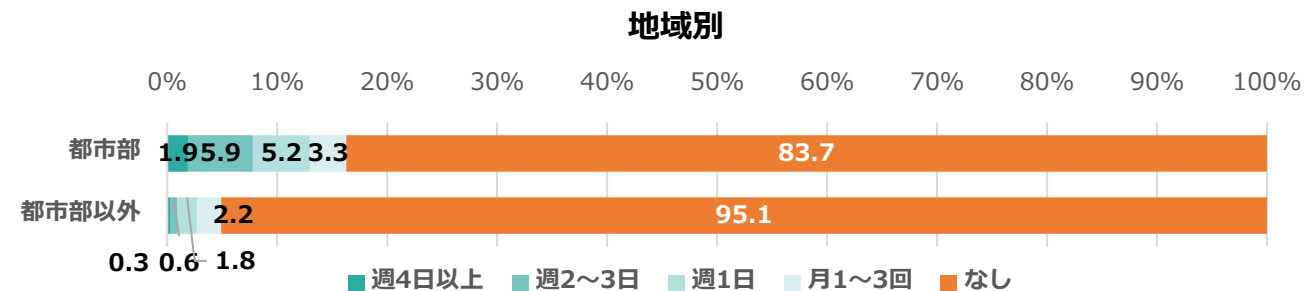
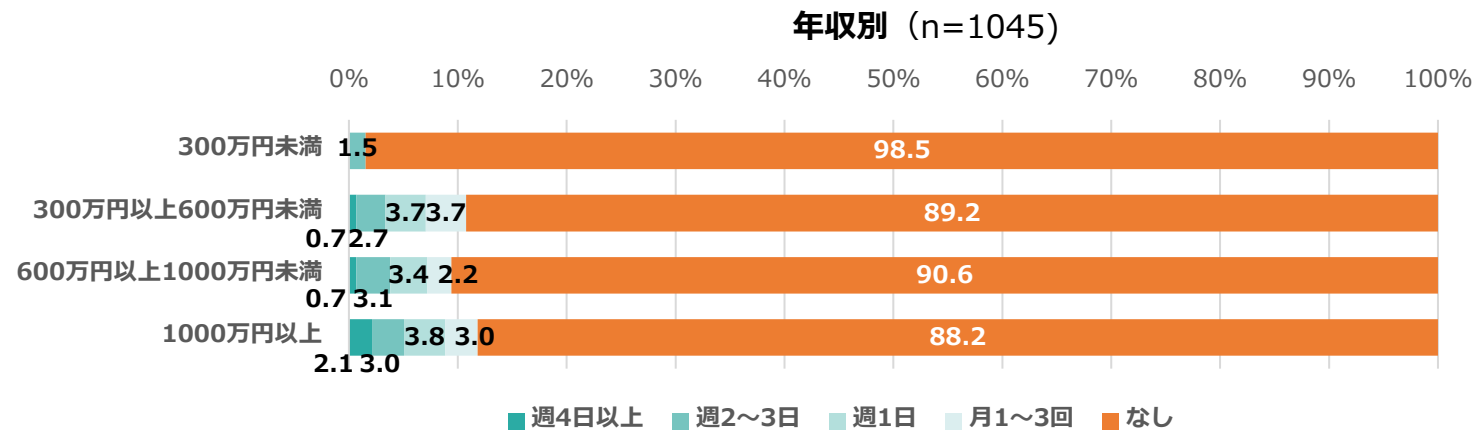
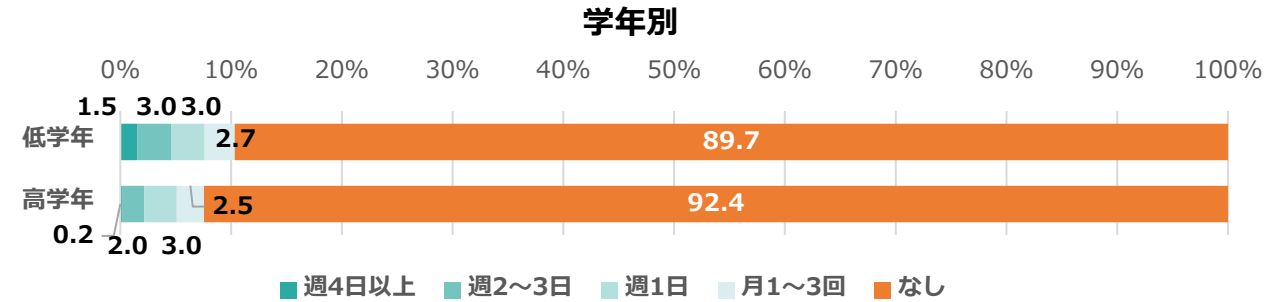
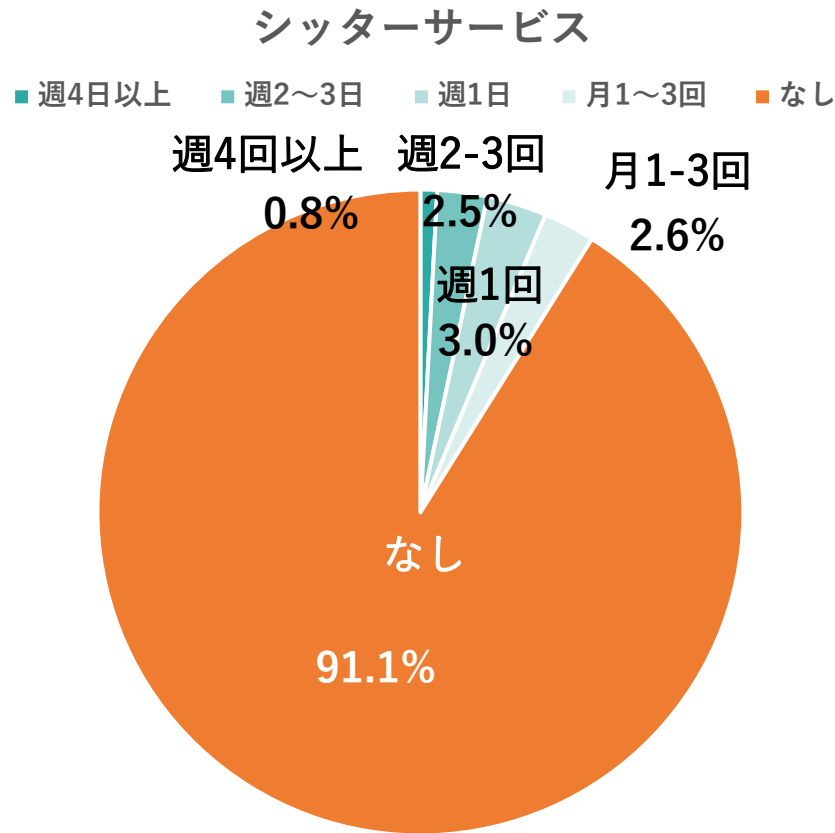
地域別



※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

## 調査結果1：⑦シッターサービス | 就労家庭の小学生(n=1200)

全体でシッターサービスの利用ありは、8.9%。年収別に見ると300万円未満で「なし(98.5%)」が多い。また、地域別では、都市部に比べ、都市部以外でシッターサービスの利用頻度が少ない傾向がうかがえる。



※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

## 調査結果2

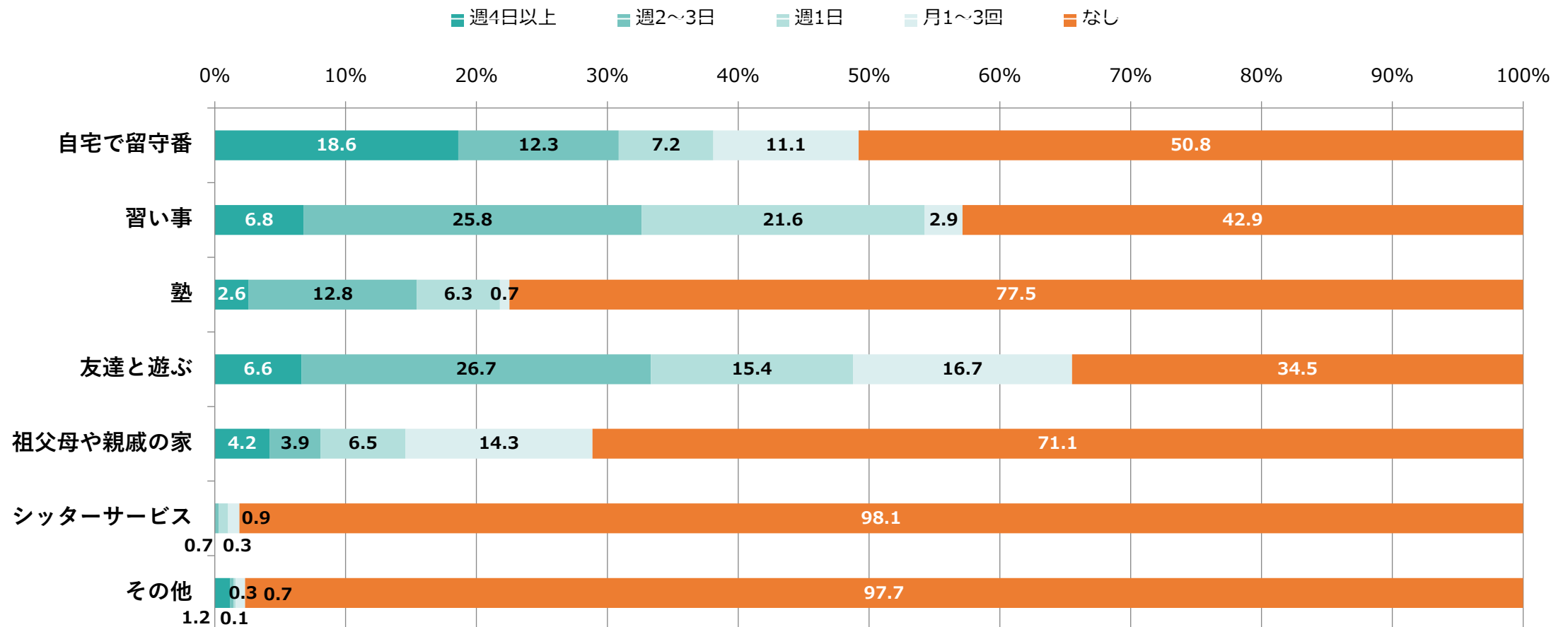
### 就労家庭で学童保育を利用していない小学生（n=693） の放課後の過ごし方

調査結果2は、調査結果1のうち、学童保育を利用していない小学生だけを対象としてまとめたものです。

「就労家庭で学童保育を利用していない小学生は放課後をどのように過ごしているか」の傾向を知ることができます。

週4回以上で見ると、「自宅で留守番(18.6%)」が最多、次いで「習い事(6.8%)」  
 週2回以上で見ると、「友達と遊ぶ(33.3%)」が最多、次いで「習い事(32.6%)」  
 週1回以上で見ると、「習い事(54.2%)」が最多、次いで「友達と遊ぶ(48.7%)」

小学生のお子さまの放課後の過ごし方とその頻度についてあてはまるものをすべて選択してください。(n=693)



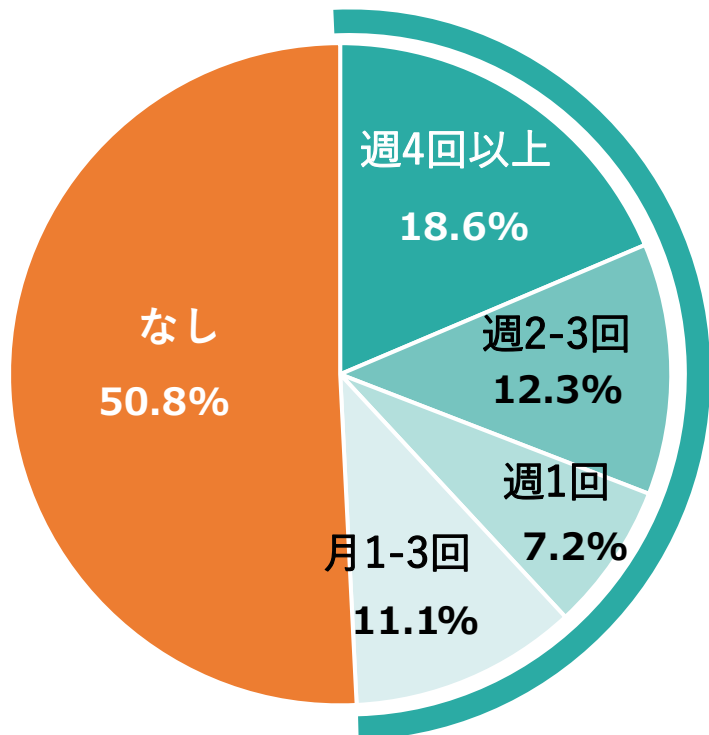
※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

## 調査結果2-2：①-1.自宅で留守番する頻度 | 学童を利用していない小学生(n=693)

自宅で留守番をしている小学生は、全体で49.2%。うち週4回以上が18.6%。高学年になると頻度が増え、週4回以上が2割強、週1回以上が約半数。また、年収1000万円以上、都市部で多い傾向。

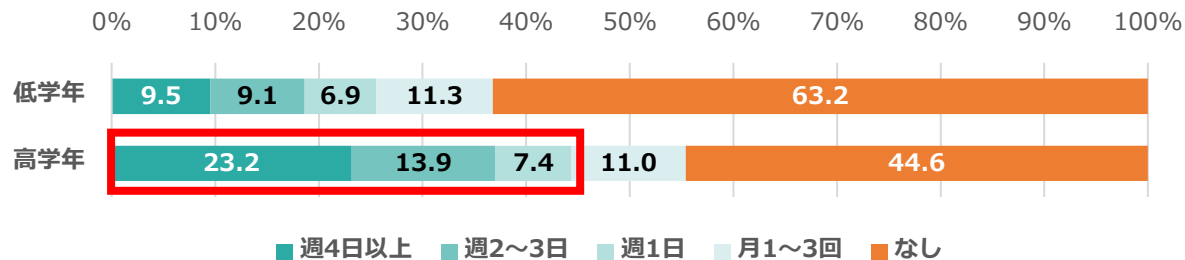
自宅で留守番 (n=693)

■ 週4日以上 ■ 週2~3日 ■ 週1日 ■ 月1~3回 ■ なし

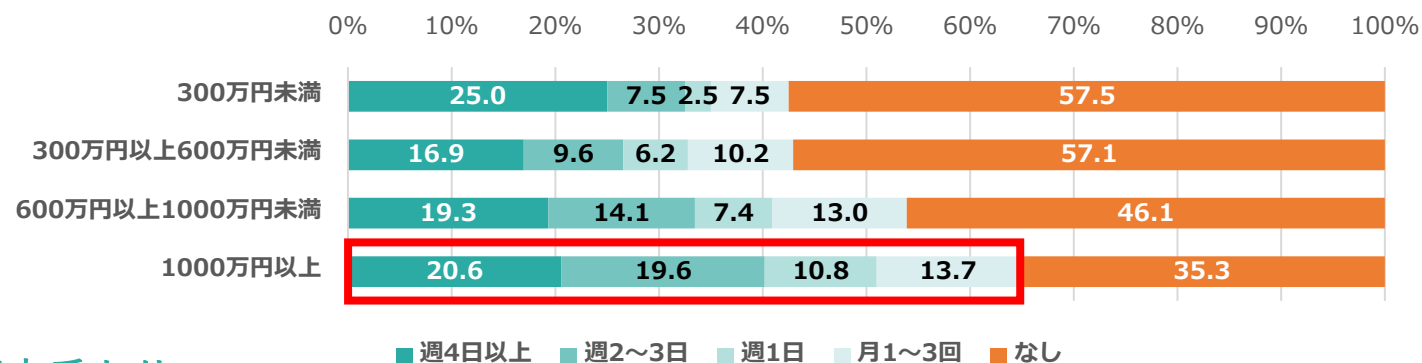


自宅で留守番あり  
49.2%

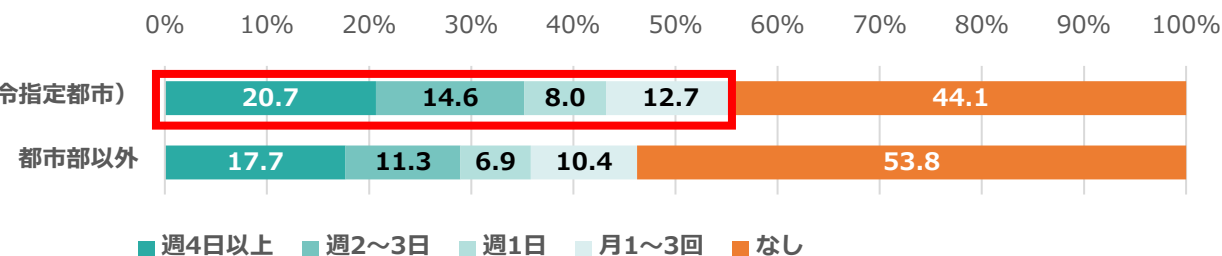
学年別



年収別 (n=588)



地域別

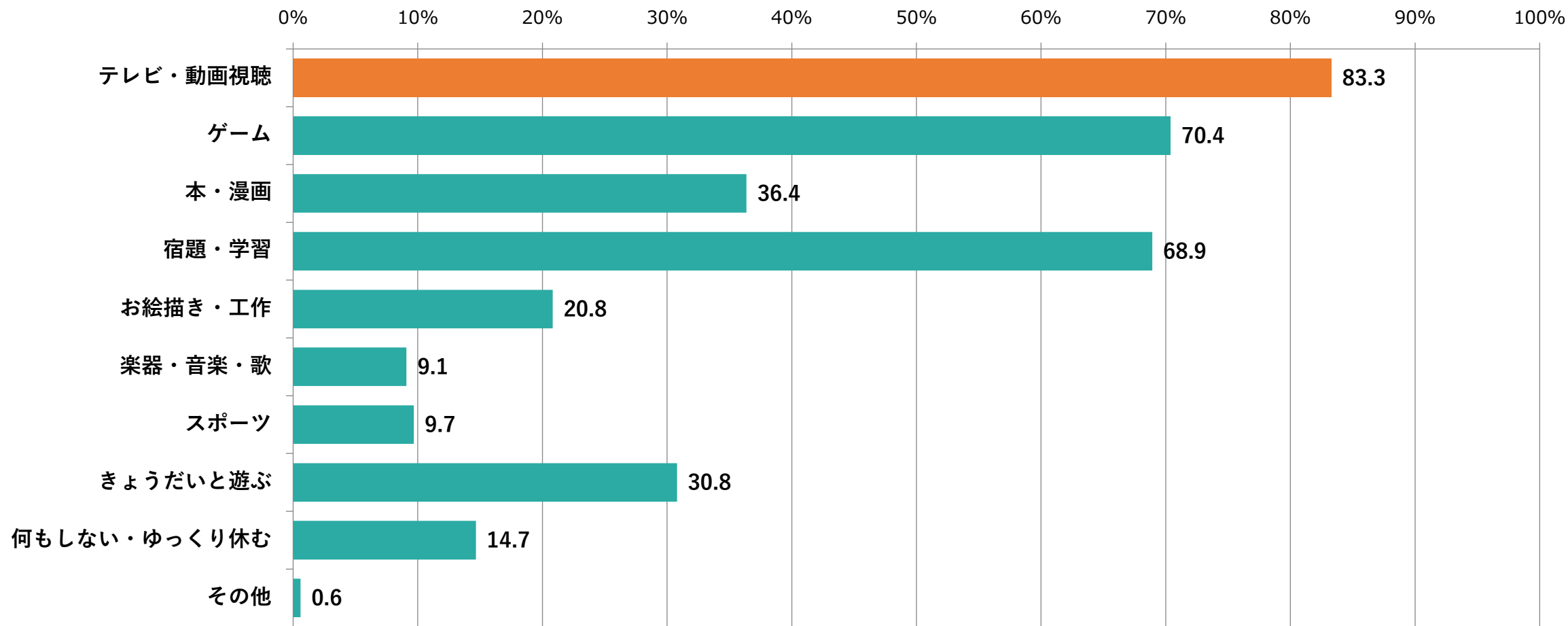


※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。



「テレビ・動画視聴(83.3%)」が最多、ついで「ゲーム(70.4%)」、「宿題・学習(68.9%)」

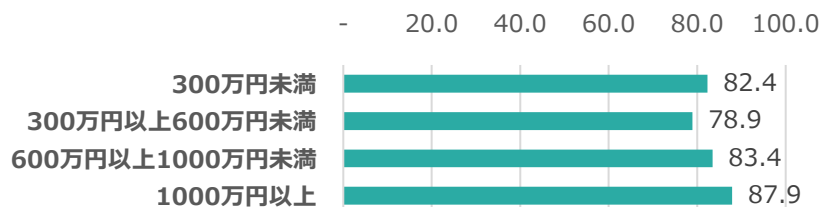
お子さまご自宅での過ごし方についてあてはまるものをすべて選択してください。(n=341)



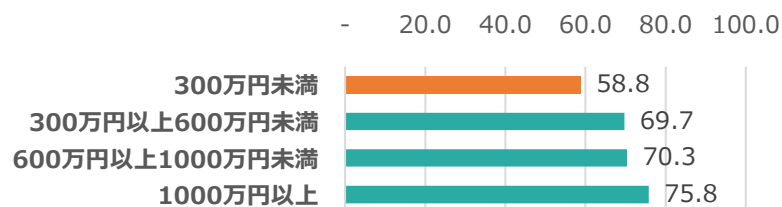
## 調査結果2-2：①-3.自宅で留守番する際の過ごし方 | 年収別 (n=304)

調査1と同じく、年収300万円未満の家庭の子どもは、自宅での過ごし方のバリエーションが少ない傾向がうかがえる。

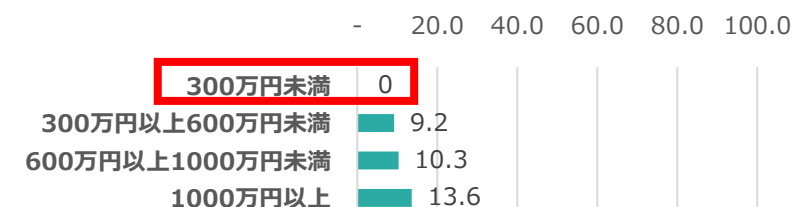
### テレビ・動画視聴



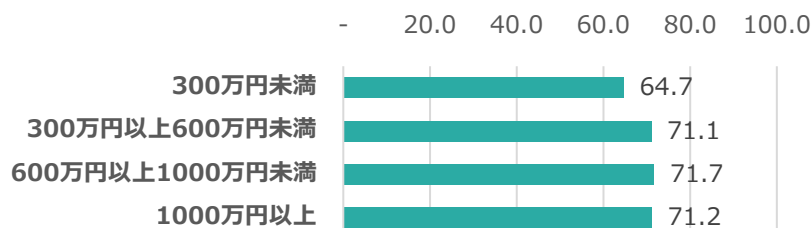
### 宿題・学習



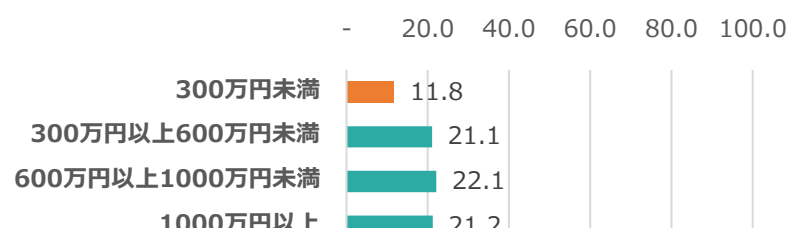
### スポーツ



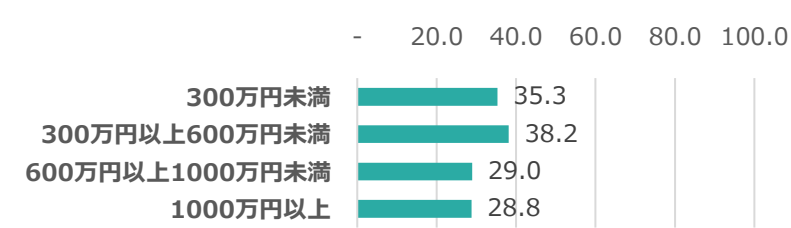
### ゲーム



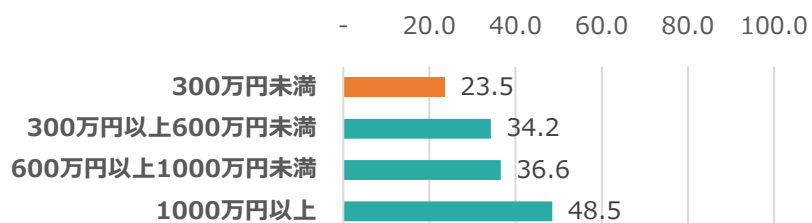
### お絵描き・工作



### きょうだいと遊ぶ



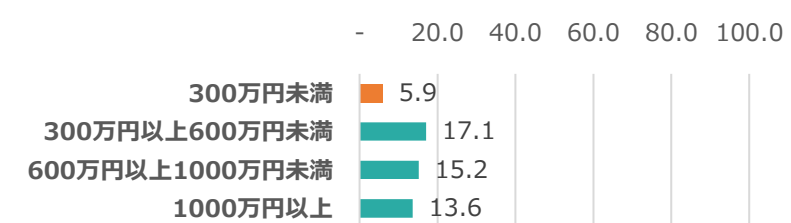
### 本・漫画



### 楽器・音楽・歌



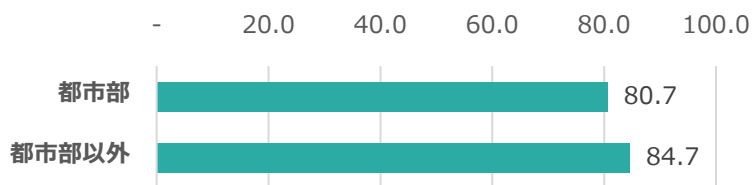
### 何もしない・ゆっくり休む



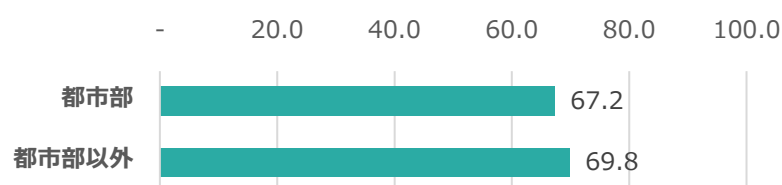
## 調査結果2-2：①-4.自宅で留守番する際の過ごし方 | 地域別(n=341)

調査1と比べると、都市部と都市部以外で過ごし方に大きな差は見られない。

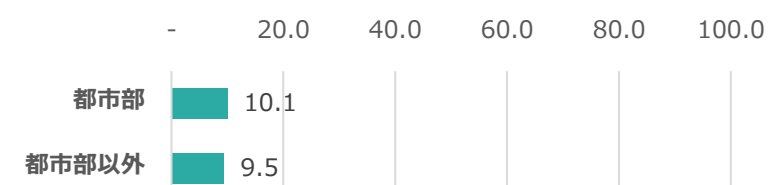
### テレビ・動画



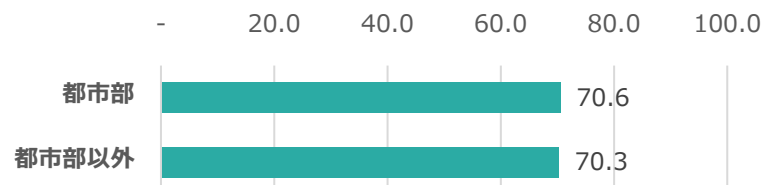
### 宿題・学習



### スポーツ



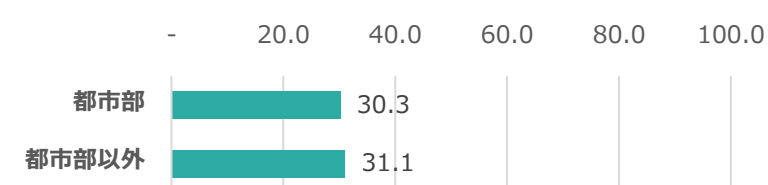
### ゲーム



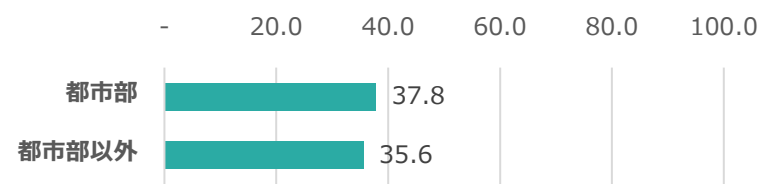
### お絵描き・工作



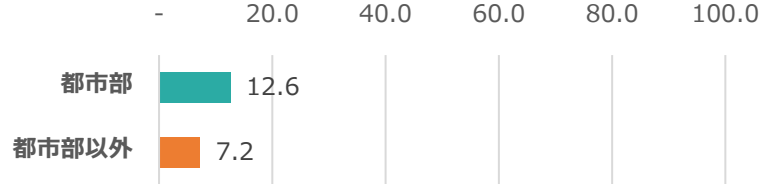
### きょうだいと遊ぶ



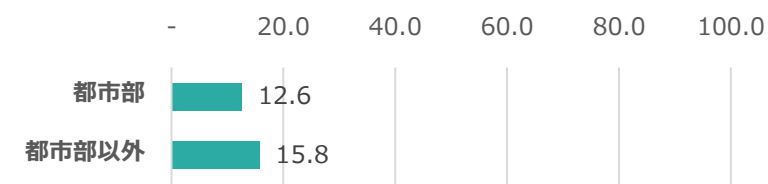
### 本・漫画



### 楽器・音楽・歌

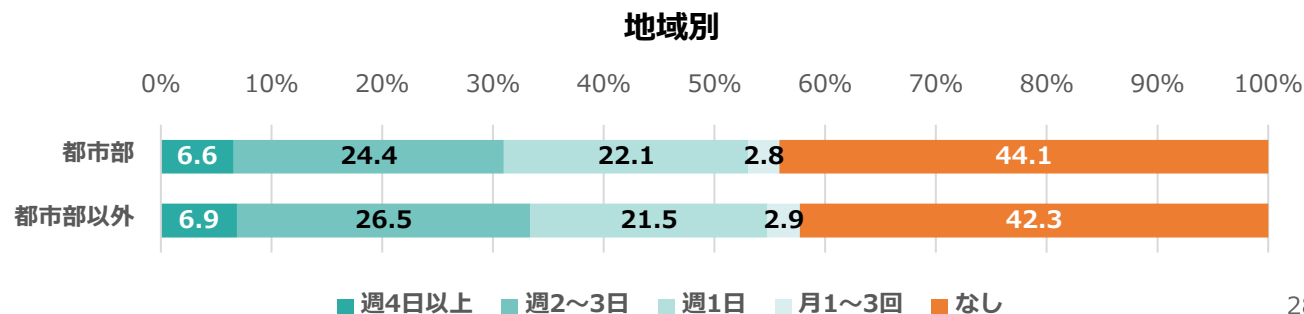
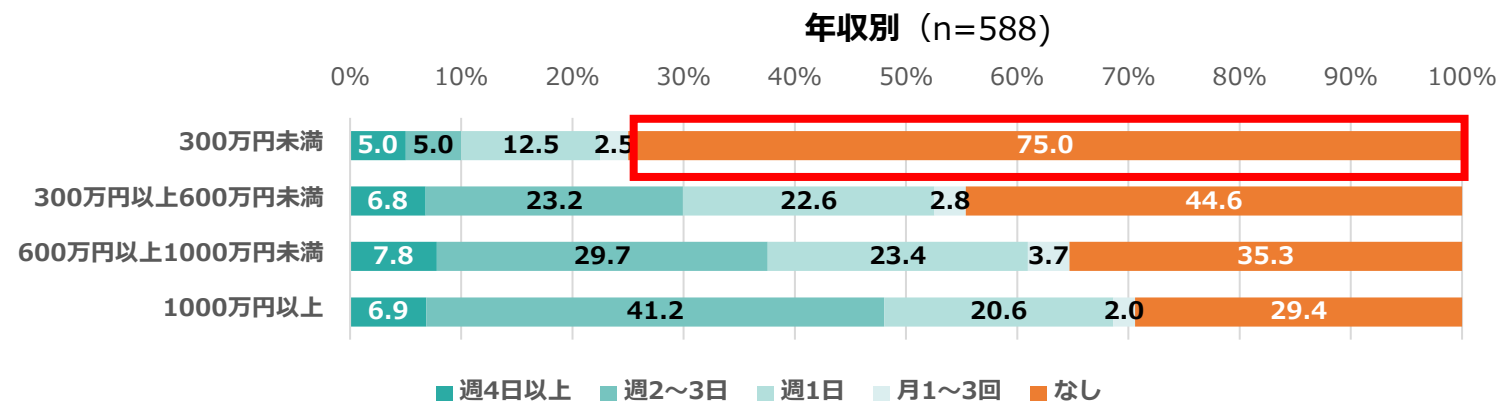
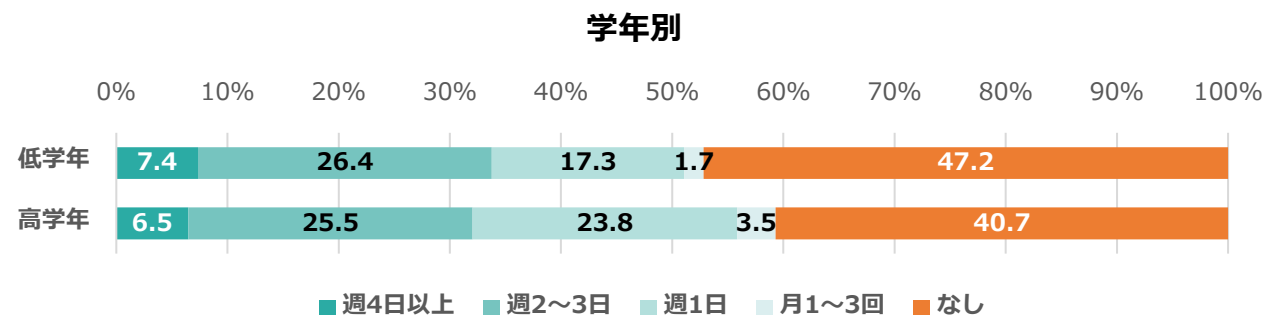
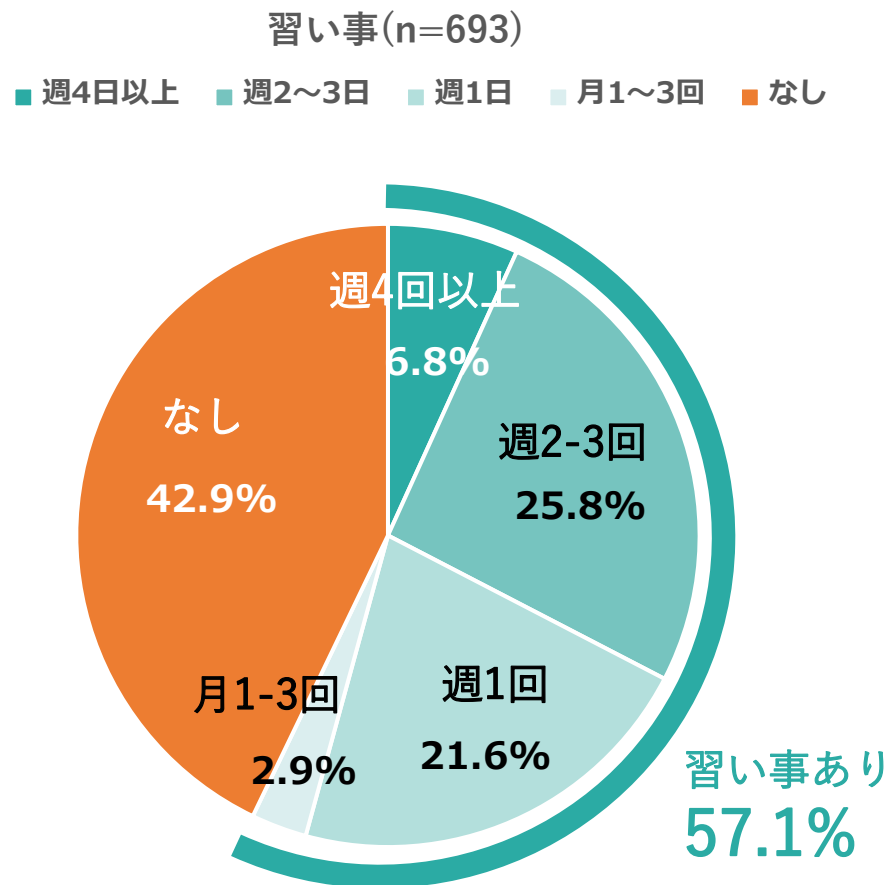


### 何もしない・ゆっくり休む



## 調査結果2-2：②習い事 | 学童を利用していない小学生(n=693)

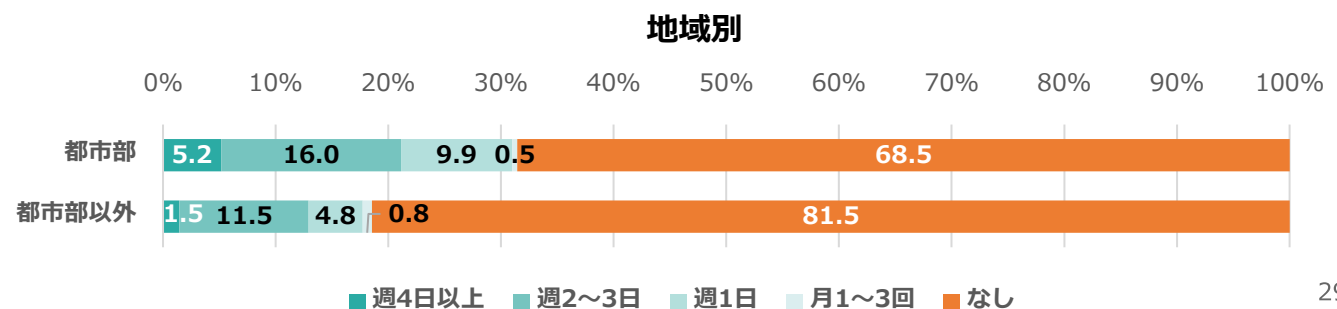
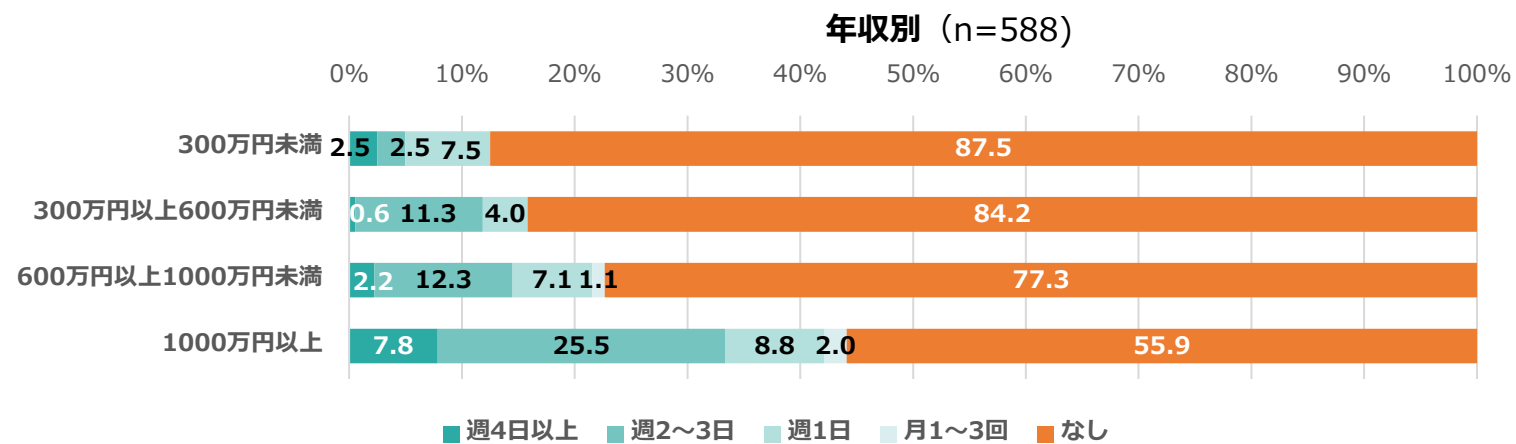
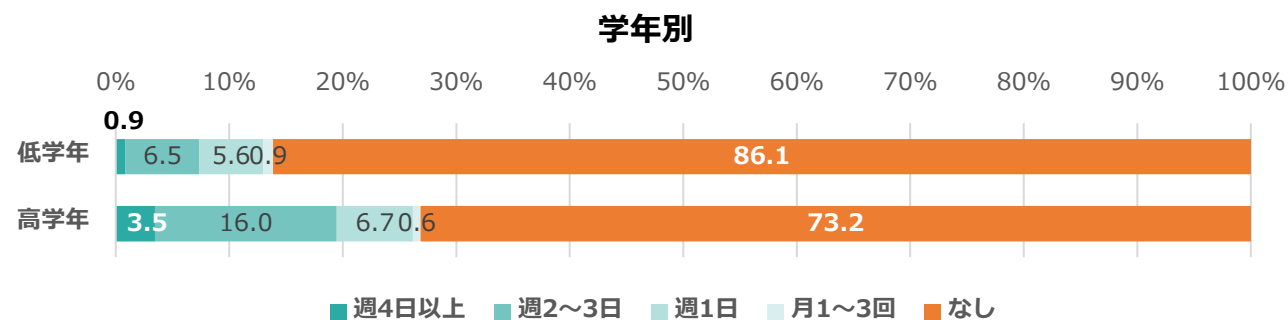
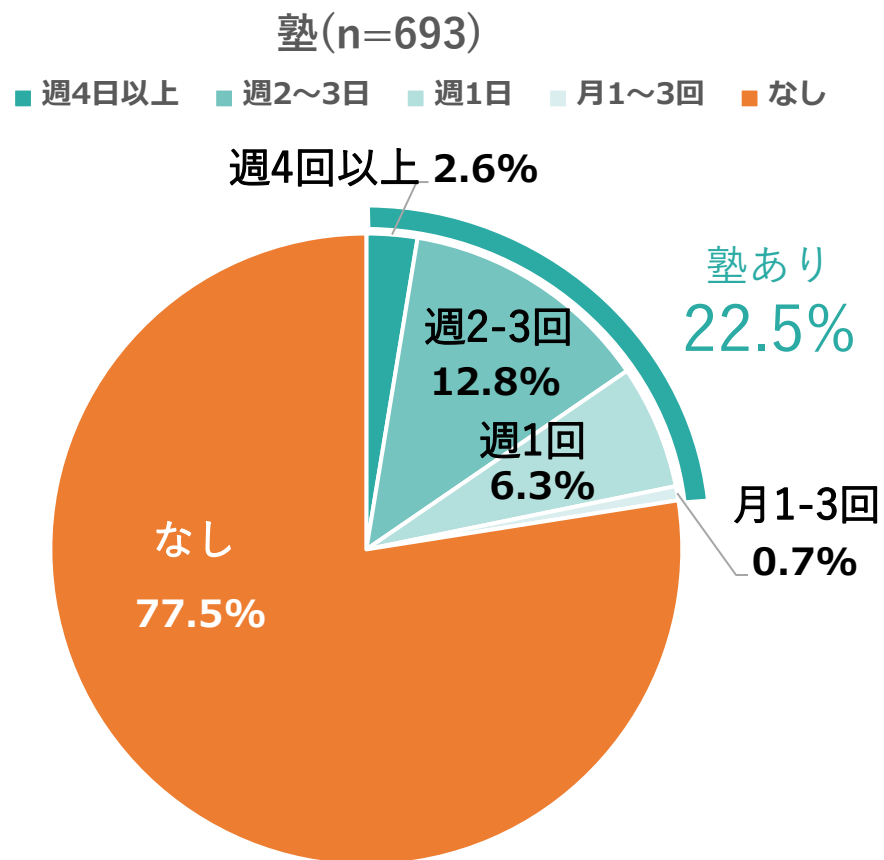
習い事をしている割合は全体で57.1%。年収300万円未満では「なし(75.0%)」が著しく多い。学童利用者と比較すると、低所得層の「なし」の割合がさらに増える。一方、地域ごとの差は見られない。



※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

## 調査結果2-2：③塾 | 学童を利用していない小学生(n=693)

塾に通っている割合は全体で、22.5%。頻度は、週2-3回(12.8%)が最多。年収1000万円以上、都市部で多い傾向。



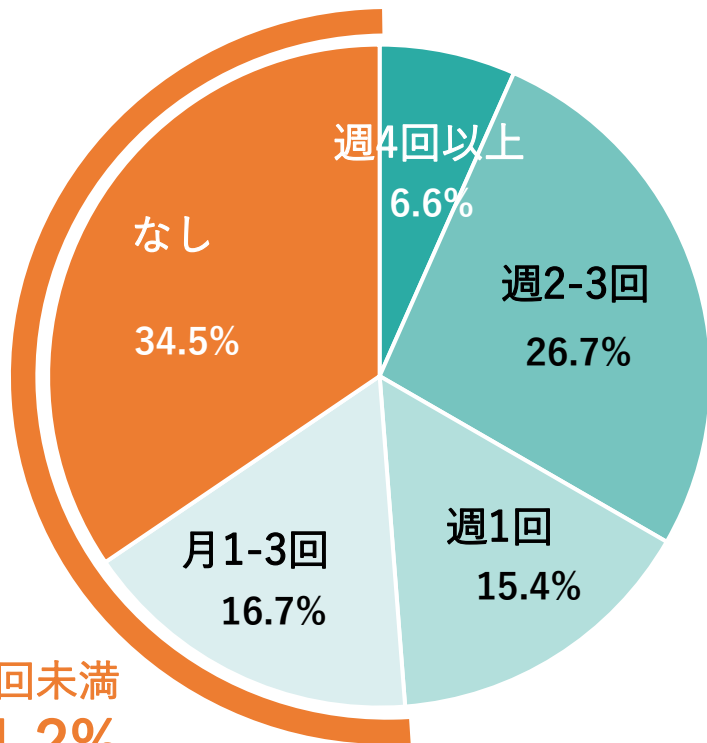
※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

調査結果2-2：④-1.友達と遊ぶ | 学童を利用してない小学生(n=693)

友達と遊ぶ頻度は、全体で週1回未満が51.2%。低学年で「なし(44.2%)」、年収別に見ると300万円未満で「なし(45.0%)」が多い。また、都市部に比べ、都市部以外で友達と遊ぶ頻度が少ない傾向がうかがえる。

友達と遊ぶ(n=693)

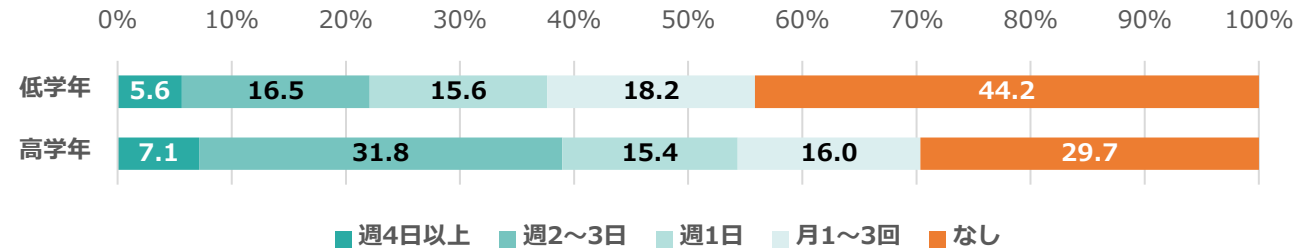
■ 週4日以上 ■ 週2~3日 ■ 週1日 ■ 月1~3回 ■ なし



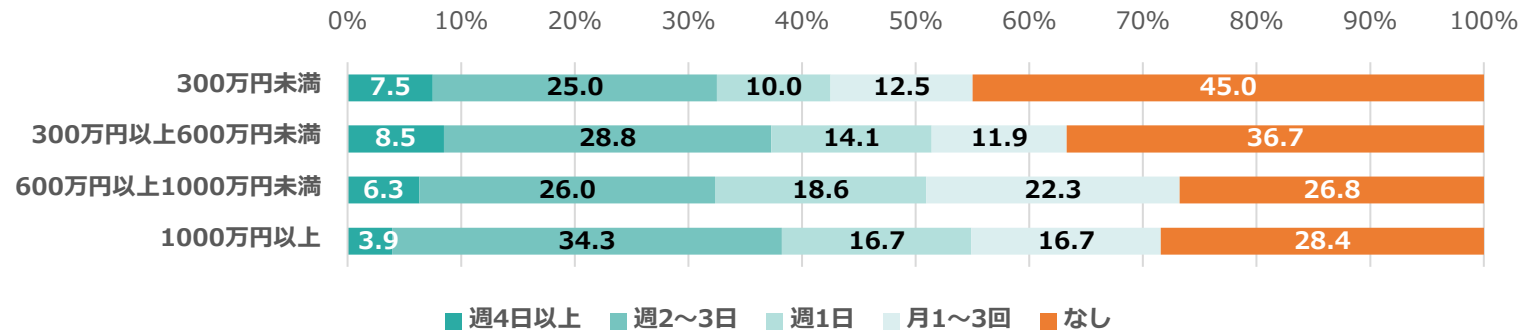
週1回未満  
51.2%

※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

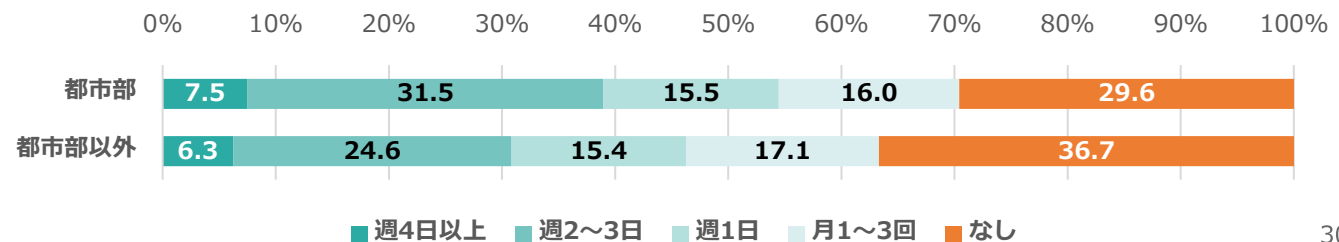
学年別



年収別 (n=588)

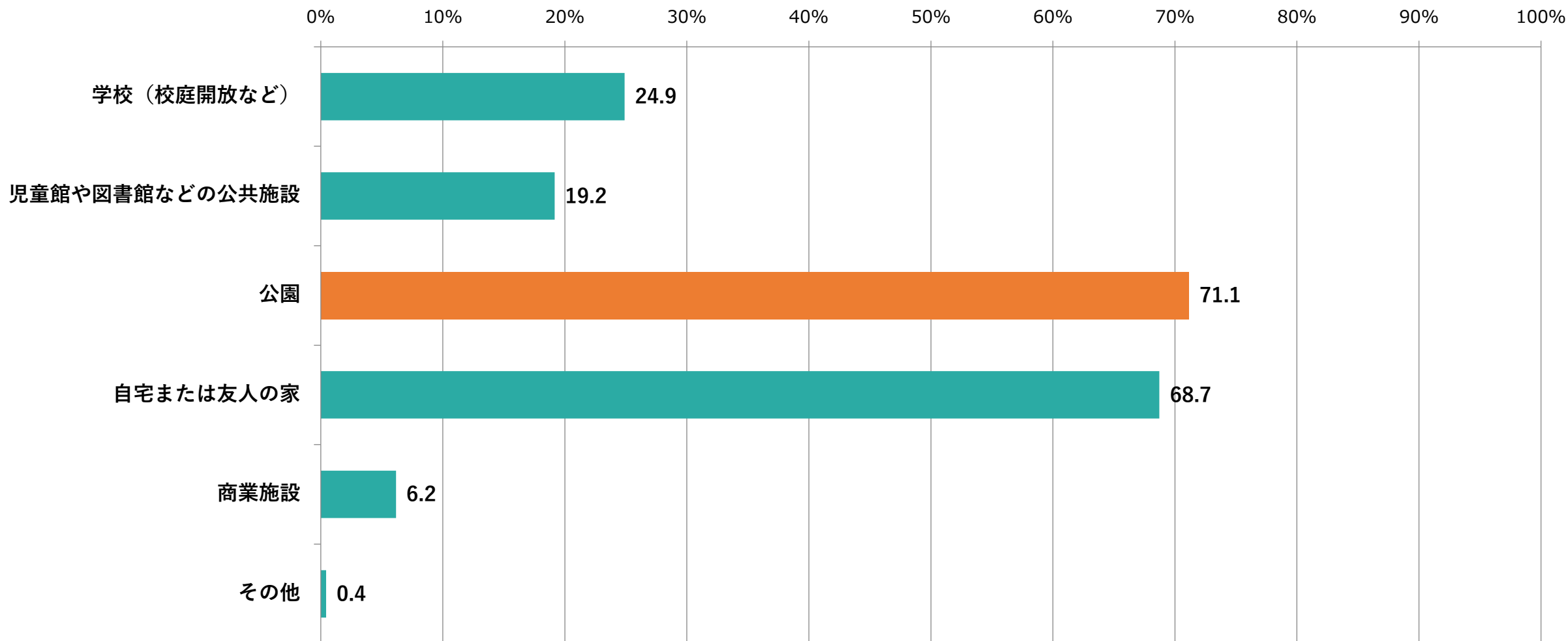


地域別



友達と遊ぶ場所は、全体で見ると「公園(71.1%)」が最多、次いで「自宅または友達の家(68.7%)」。

お子さまが友達と遊ぶ場所についてあてはまるものをすべて教えてください。(n=454)

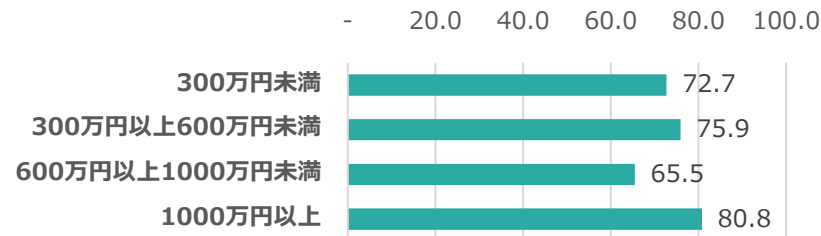


友達と遊ぶ場所を年収別に見ると、年収300万円未満で公共施設が少ない傾向がうかがえた。

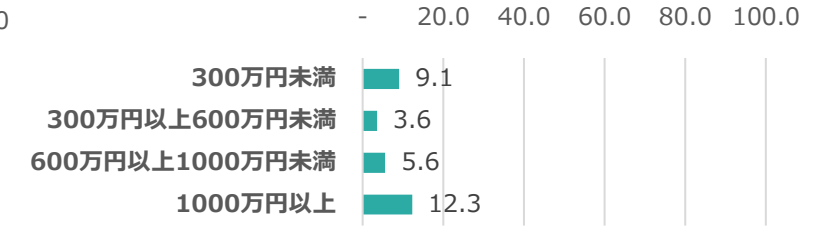
学校（校庭開放など）



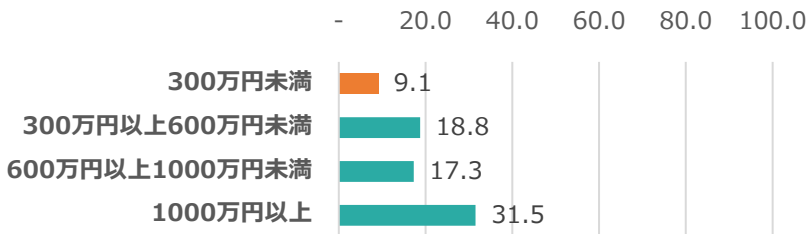
公園



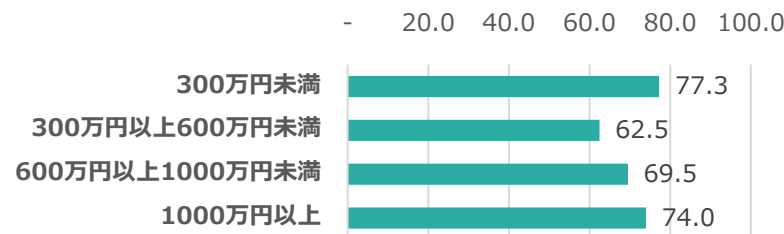
商業施設



児童館や図書館などの公共施設



自宅または友人の家

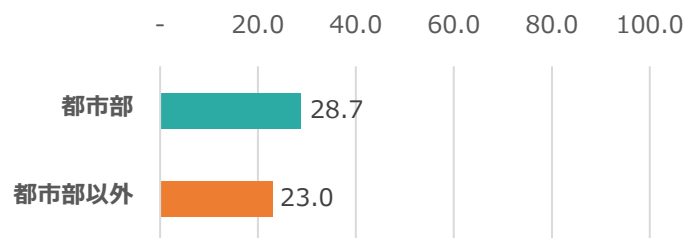


「わからない」を除く回答数：404

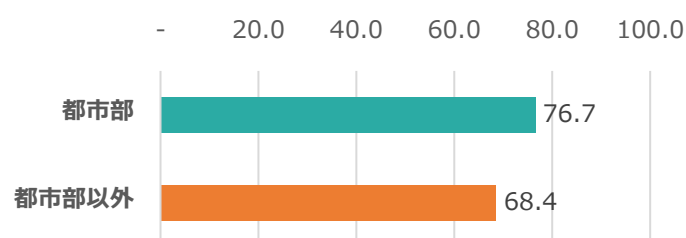


友達と遊ぶ場所を地域別で見ると、学校、公園、自宅または友人宅で都市部以外の方が少ない傾向がうかがえた。

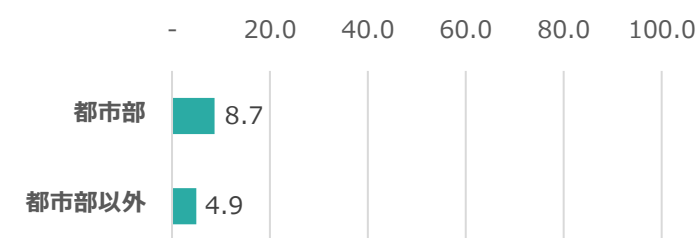
### 学校（校庭開放など）



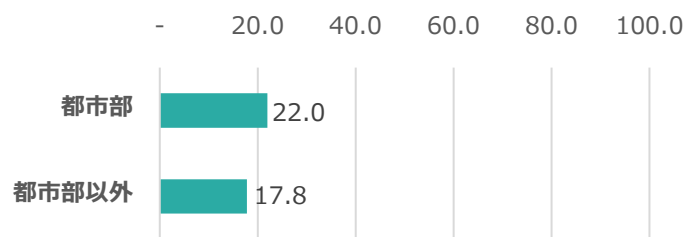
### 公園



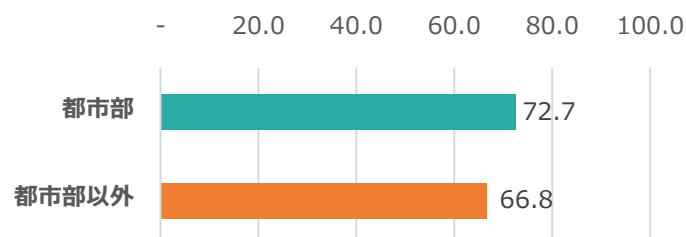
### 商業施設



### 児童館や図書館などの公共施設



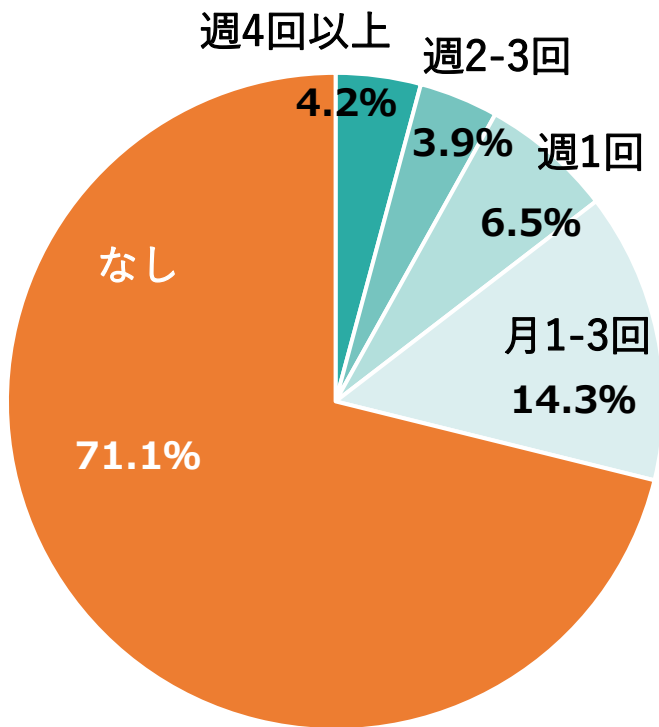
### 自宅または友人の家



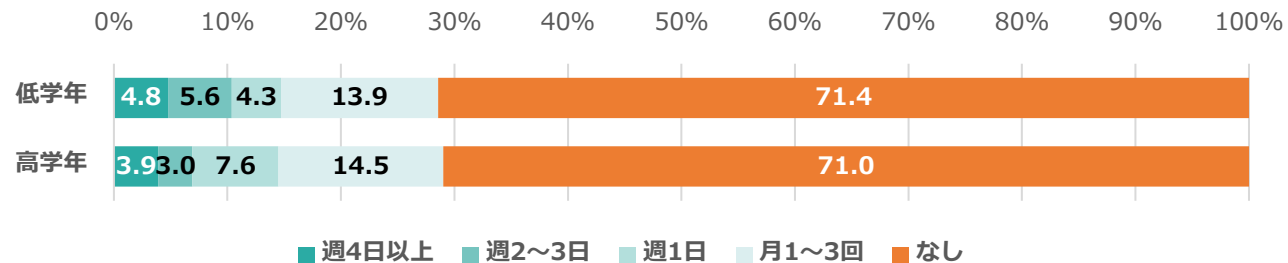
祖父母や親戚の家で過ごす割合は全体で、28.9%。年収300万円未満で「なし(80.0%)」が多い。

祖父母や親戚の家

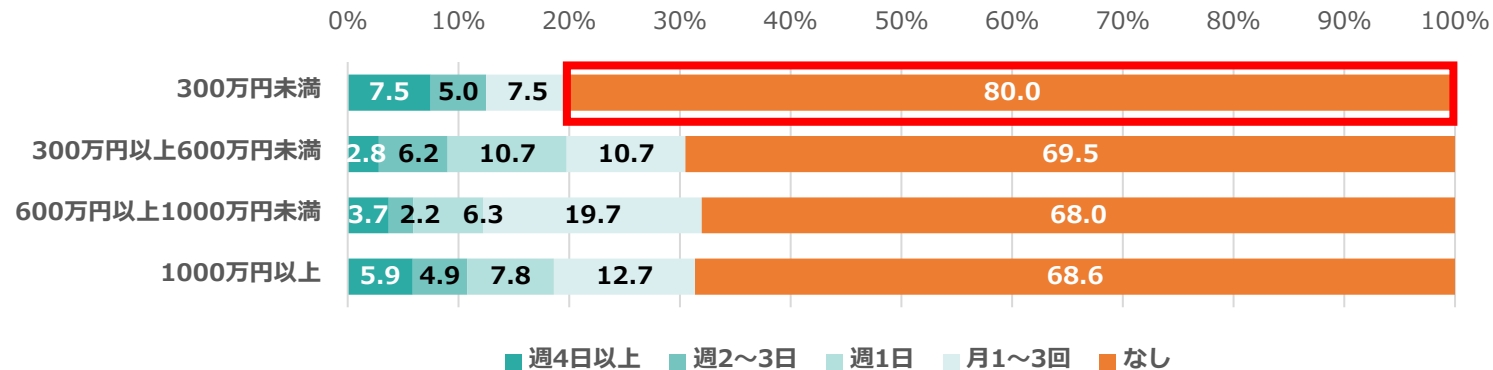
■ 週4日以上 ■ 週2~3日 ■ 週1日 ■ 月1~3回 ■ なし



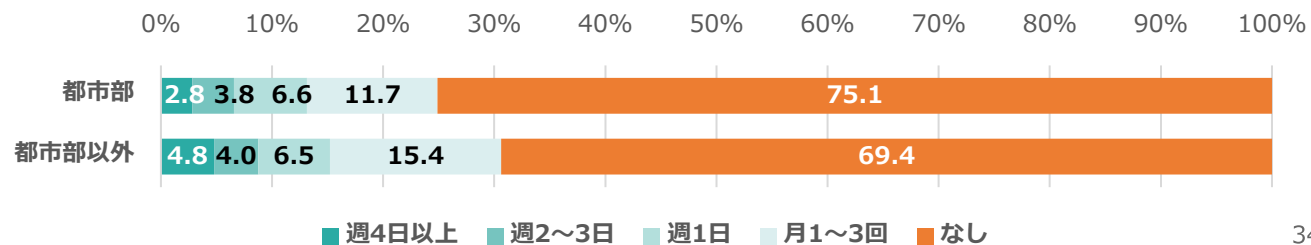
学年別



年収別 (n=588)

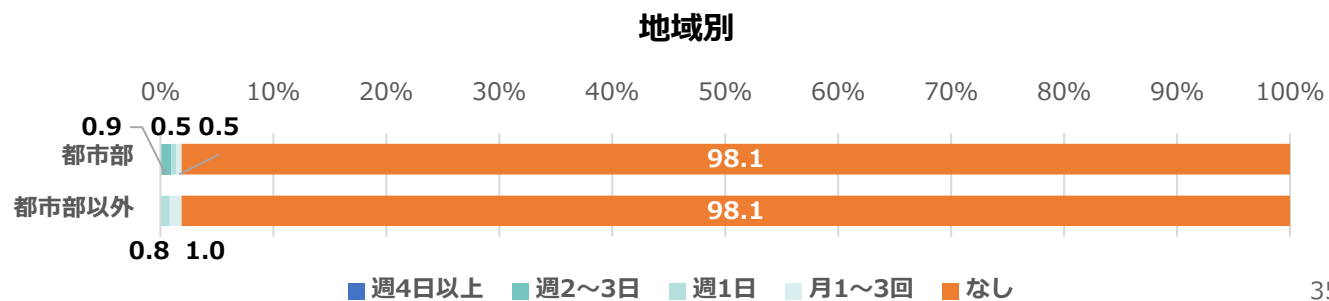
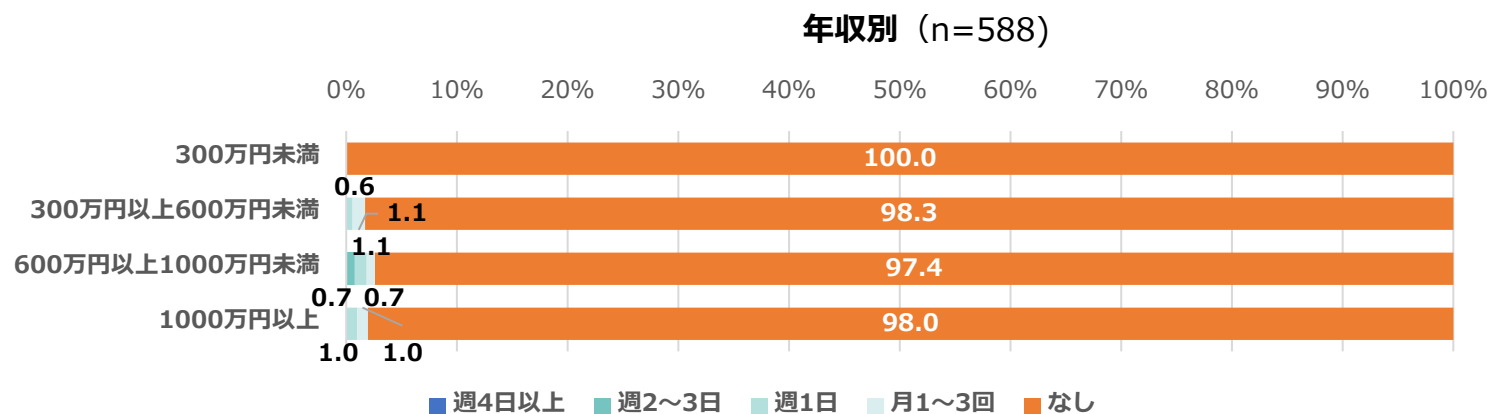
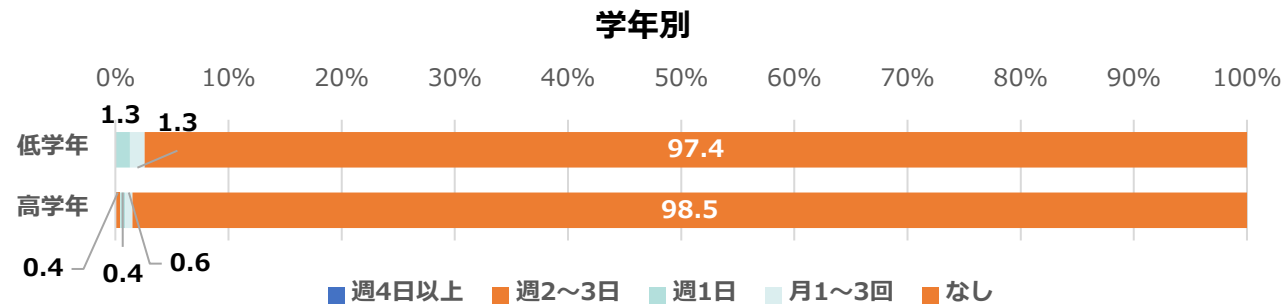
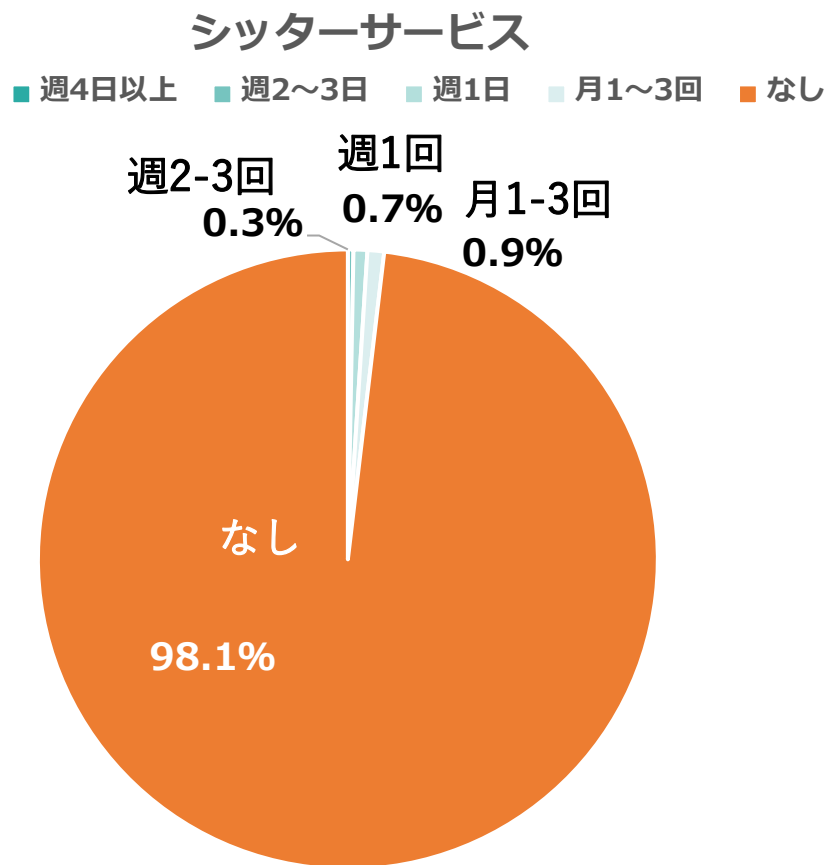


地域別



※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

シッターサービスを利用している割合は全体で、1.9%。



※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合もあります。

## 調査結果3

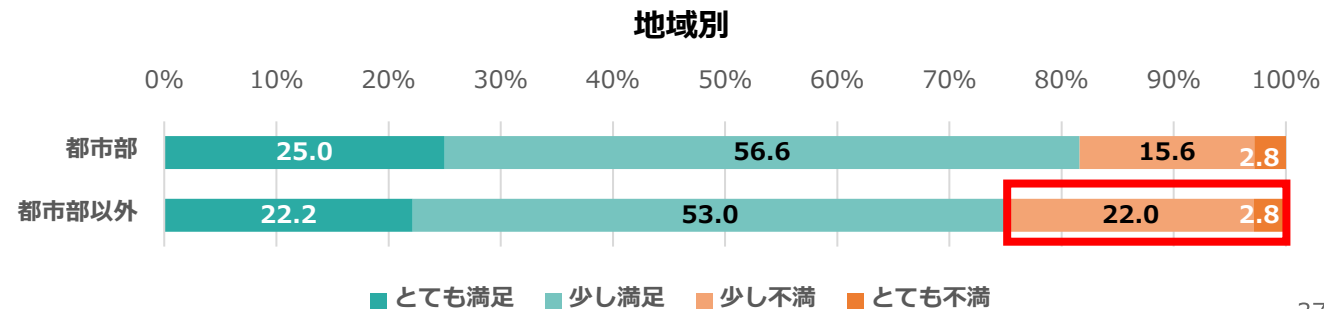
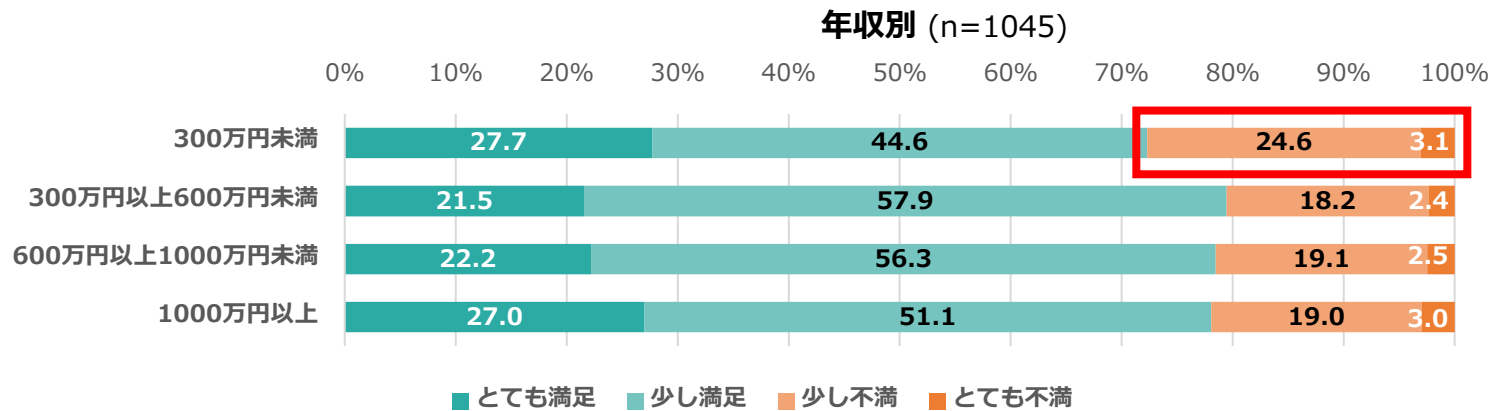
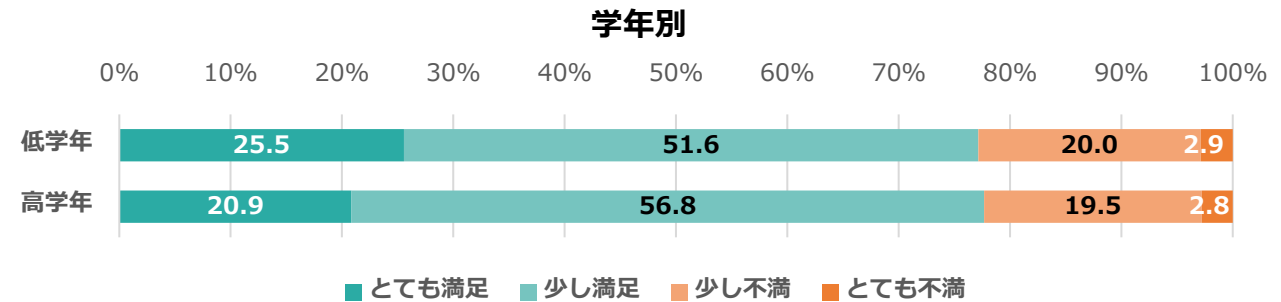
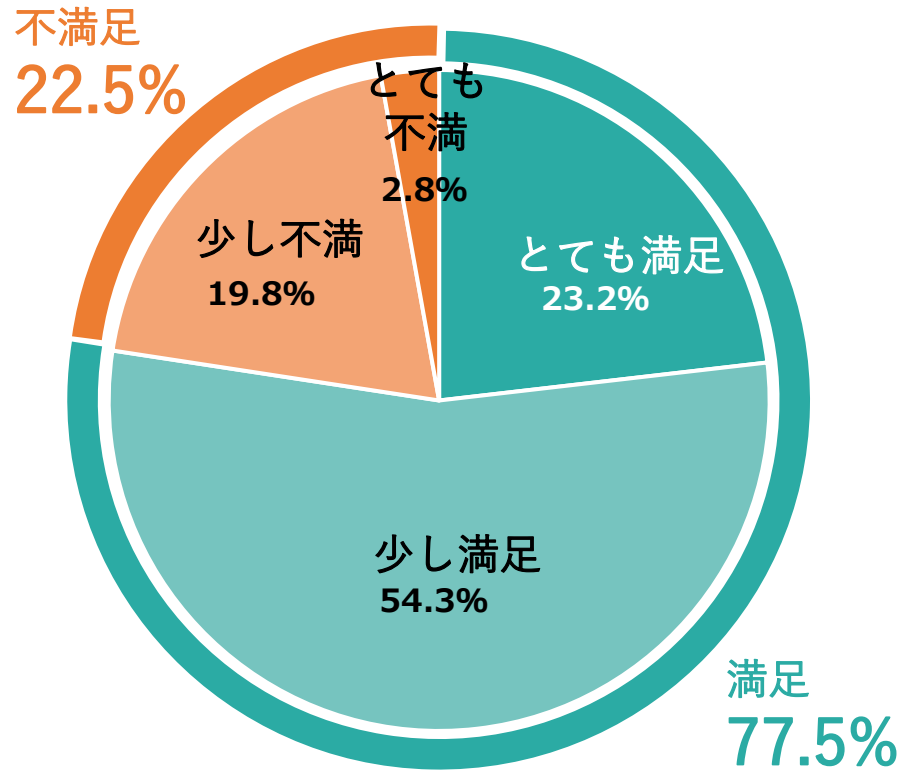
就労家庭 の小学生 (n=1200)

放課後の過ごし方に対する満足度・課題・ニーズ

# 調査結果3-1：①放課後の過ごし方に対する子どもの満足度 | 就労家庭の小学生(n=1200)

放課後の過ごし方に満足が77.5%、不満足が22.5%。年収別では300万円未満で不満（27.7%）が多く、地域別では都市部よりも都市部以外の方が不満が多い傾向がうかがえる。

放課後の過ごし方に満足していますか？ (n=1200)

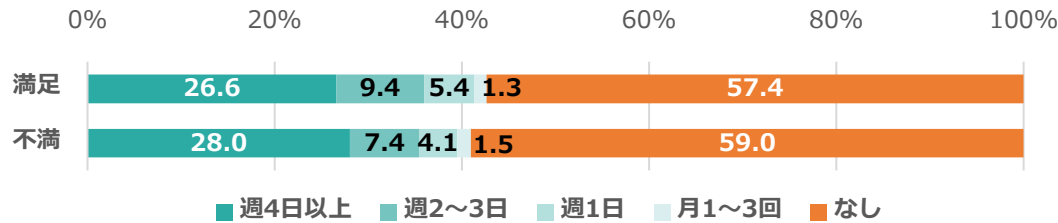


※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

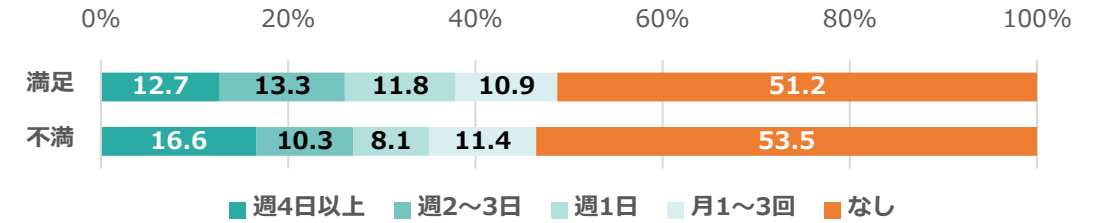
## 調査結果3-1：②満足群と不満足群の過ごし方比較

放課後の過ごし方に満足している子どもと満足していない子どもの過ごし方を比較すると、**満足と答えた子どもは、友達と遊ぶ頻度が多い傾向**がうかがえる。  
また、**不満と答えた子どもは、習い事や塾に通っていない割合が多い傾向**もうかがえる。

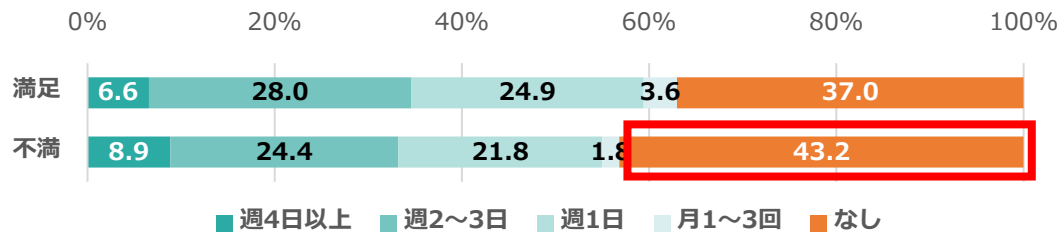
学童保育



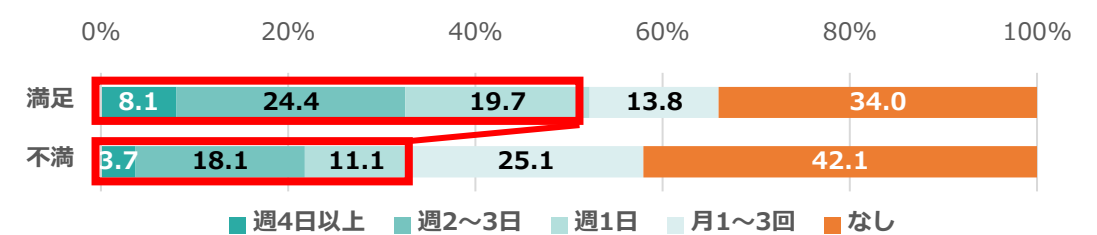
自宅で留守番



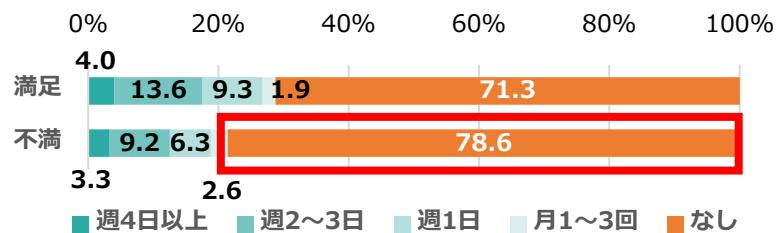
習い事



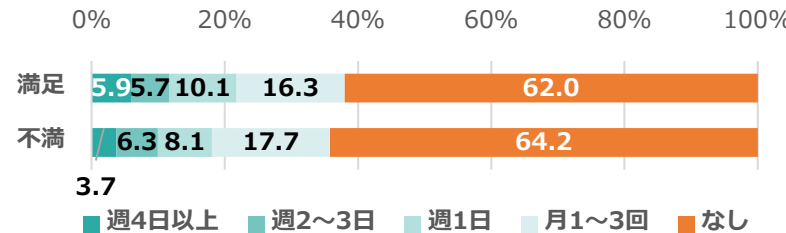
友達と遊ぶ



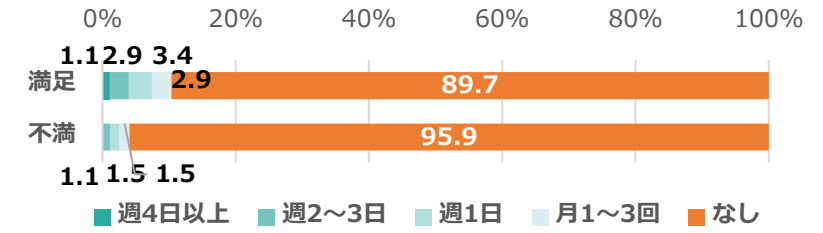
塾



祖父母や親戚の家



シッターサービス



満足の理由として多くあがった声は「友達と遊べるから」「学童が楽しいから」「自由・好きに過ごせるから」。

### 友達と遊べる

友達とも遊べるから充実している。(5年、北海道)

友だちと遊んでからみんなとおやつを買って食べてそのままみんなと塾で楽しい。(6年、兵庫県)

近くに商業施設があり友達みんなが集まりやすい。(6年、神奈川県)

友達とオンラインゲームするのが楽しい。(4年、奈良県)

毎日ともだちと遊べるから。(1年、東京都)

友達の家で遊べるからそれだけでいいと思う。(3年、東京都)

### 学童が楽しい

学童だと宿題もできるし友達もいるから楽しいから満足。(2年、埼玉県)

学童では年齢の違うお友達とも関わりがもてるから。(5年、滋賀県)

学童で友達と遊べるので満足。(3年、新潟県)

週3回は、わくわく(学童)で、友達と遊べるし、週2回は校庭で遊んでから家にそのまま帰れるから。(5年、神奈川県)

学童に友達が多い。(1年、香川県)

学童の友達がたくさんいて、近所で遊べるから。(3年、大阪府)

### 自由・好きに過ごせる

自分の時間がある。自分のペースで遊べるから。(4年、沖縄県)

自由に過ごせているから。(6年、北海道)

自分のペースで好きなことや宿題ができるから。(6年、東京都)

ゴロゴロできるから。(3年、岡山県)

したい事ができているので満足。(4年、東京都)

好きに遊び行けるから。(3年、愛知県)

不満の理由として特に多かったのは「遊べる時間・場所が少ない」「友達と遊べない」「自由に過ごせない」。子どもたちのニーズは、「もっと遊びたい」「友達と遊びたい」「自由に過ごしたい」。

### 遊べる時間・場所が少ない

もっとたくさん遊びたいから。(5年、愛知県)

遊ぶ日が少ない。(1年、静岡県)

遊べる場所が少ないので増えてほしい。(6年、神奈川県)

もっと遊ぶ時間が欲しい。(5年、三重県)

夕方以降に外遊びをさせてもらえないから。(3年、奈良県)

遊ぶところが少ない。(3年、神奈川県)

### 友達と遊べない

周りの友達が予定があってあまり遊べない。(6年、神奈川県)

学童にあまり行きたくなく、もっと友達と家で遊びたいから。(1年、福岡県)

もっと友だちと自由に遊べたらいいと思う。(2年、愛知県)

塾が忙しいからもっと友達と遊びたい。(6年、東京都)

毎日友達と遊べればいい。(4年、宮城県)

習い事で友達と遊ぶ時間がない。(5年、兵庫県)

### 自由に過ごせない

自由時間が少ない。(2年、神奈川県)

ゲームをしたりユーチューブを見たりもっと自由に遊びたい。(5年、滋賀県)

もっと外出したい。(2年、滋賀県)

外で遊びたい。(3年、山口県)

自由に遊びたい。(1年、宮城県)

もっと一人で自宅で勉強以外の好きなことをする時間が欲しい。(5年、東京都)

やりたいことができる機会が少ない。(2年、京都府)



また、「学童に行きたくない」「家で過ごしたい」という声や、「時間が少ない・休めない」「退屈・もっと充実させたい」という声も多くあがった。

### 学童に行きたくない

学童に行きたくない。(2年、兵庫県)

学童はうるさい。(3年、山形県)

学童がつまらない。(5年、群馬県)

放課後ルームがいまいち。(5年、都市部以外)

学童に遊ぶ友達がいない。(2年、千葉県)

学童が面倒。(2年、鳥取県)

### 家で過ごしたい

早く家に帰りたい。(2年、青森県)

もっと早く迎えに来てほしい。(1年、埼玉県)

たまには学童じゃなく帰りたい。(3年、埼玉県)

家にいたい。(3年、兵庫県)

家で遊びたい。(5年、栃木県)

学童で家に帰れないから。(1年、大阪府)

### 時間がほしい・休みたい

休む暇がない。(4年、神奈川県)

休めない。(2年、北海道)

時間が少ない。(5年、千葉県)

時間があまりない。(4年、岡山県)

時間が欲しい。(6年、北海道)

### 放課後を充実させたい

退屈。友達が少ない。(6年、愛知県)

もっと充実させたい。(3年、三重県)

暇。(2年、奈良県)

保護者からは、**子どもが安心・安全に過ごせる場所・遊べる場所、見守り等のサービス**を求める声が多い。

### 安心・安全に子どもが過ごせる場所がほしい

- ・地域で安全に過ごすことができれば、留守番も考えられるが、いまの現状では少し不安。(4年保護者、沖縄県)
- ・学童以外で友達と安全に過ごせる場があると良い。(1年保護者、東京都)
- ・安全で楽しく気軽に使える子供の居場所が欲しい。(1年保護者、静岡県)
- ・こどもが安心・安全に過ごせる場所が学校と家以外にない。(2年保護者、東京都)
- ・共働きなので安心して預けられる場所の選択肢が増えて欲しい。(3年保護者、広島県)
- ・子供だけで安全に遊べる場所がない。(1年保護者、長崎県)

### 遊べる場所を増やしてほしい

- ・地域で遊べる場所が少ない。(5年保護者、宮城県)
- ・この公園に行くときみんないるという、大きな公園があればいい。(5年保護者、奈良県)
- ・熱中症を避けられる施設があるといい。(3年保護者、神奈川県)
- ・外で友達と遊ばせてあげたいけど心配で少し遠い。(6年保護者、京都府)
- ・遊ぶ場所がなさすぎる。ボール遊びできる公園が近くになさすぎる。(6年保護者、埼玉県)
- ・家じゃなくても遊べる場所が欲しい。(3年保護者、東京都)

### 学校・公民館を開放してほしい

- ・公民館などを開放して、遊んだり学んだりできるようなことがあればよい。(1年保護者、静岡県)
- ・高学年になり学童に入れなくなった場合、公民館などを開放してほしい。(2年保護者、滋賀県)
- ・土日でも学校のグラウンドを解放してほしい。(3年保護者、大阪府)
- ・学校が開放されない。(5年保護者、兵庫県)

### 地域・行政のサービス、見守りがほしい

- ・子どもの安全を地域や行政で見守るサービスや、親に共有してもらえるサービスがあると安心する。(3年保護者、高知県)
- ・信頼できる大人の目の行き届く所で過ごして欲しい。(6年保護者、滋賀県)
- ・地域や行政サービスなど規制なく自由に利用できるとよい。(5年保護者、長野県)
- ・補助を受けて自宅で子供を見てもらえるサービスがあればよい。(1年保護者、福岡県)
- ・仕事の時に子供を預かってくれる自治体サービス拡充を求める。(1年保護者、東京都)

また、「体験や習い事をさせてあげたい」「学童の仕組み・質を改善してほしい」という声も多い。

### 体験が少ない・させてあげたい

- ・無料で体験できる事をたくさん開催してほしい。(2年保護者、東京都)
- ・外に出て色々な体験をさせたい。(1年保護者、東京都)
- ・異年齢の子どもや大人と交流する機会が欲しい。(3年保護者、福井県)
- ・小学校高学年や中高生向けのサポートやイベントがより充実してくると嬉しい。(6年保護者、東京都)
- ・家にいるとテレビを見たり、身体を動かさなくなるので、地域でイベントなどを開催してもらって、色々な体験や経験を増やしてあげたい。(4年保護者、愛媛県)
- ・一人で留守番は心配な面がある。体験教室などに行かせたい。(5年保護者、東京都)
- ・自治体で主催している体験イベント等に参加したい。(6年保護者、茨城県)
- ・一つの習い事ではなくいくつもの経験をしてほしい。(5年保護者、群馬県)

### 習い事ができない・させてあげたい

- ・もっと習い事をさせたい。(3年保護者、和歌山県)
- ・本当は習い事もさせたいが現状行動できてない。(2年保護者、秋田県)
- ・時短勤務出来れば、習い事もできるけど、今の生活状況では、なにもできない。(3年保護者、山形県)
- ・一人で習い事に行けないが連れていく人がいない。(3年保護者、都市部以外)
- ・塾や習い事をしてもらいたい。(2年保護者、東京都)

### 学童の仕組み・質を改善してほしい

- ・行ける学童が1つしかなく、みんなそこに行くからぎゅうぎゅう詰め状態。もっと選択肢がある学童の数にして欲しい。(1年保護者、石川県)
- ・学童は人数が多すぎて息が詰まりそうなので、通いたくないのも分かる。(1年保護者、福岡県)
- ・学童の先生の質が上がってくれたら嬉しい。(2年保護者、鳥取県)
- ・学童保育があまり楽しくないらしく、保育内容の詳細はわからないが改善してほしい。(1年保護者、奈良県)
- ・お金か時間がないと豊かな体験をさせてあげられないので、学童で少しやってもらえると助かる。(2年保護者、神奈川県)
- ・学童の費用が高い。(3年保護者、千葉県)

さらに、「発達障害の子どもも預けられる場所がほしい」「本当はもっと一緒に子どもと過ごしたい」という声も複数あがった。

### 発達障害の子どもも預けられる 場所がほしい

- ・発達障害児の利用できる場所が少ない。学童か放課後等デイサービスを利用したい。（1年保護者、神奈川県）
- ・障害児を長く預かってもらえるサービスを、充実してほしい。（3年保護者、東京都）
- ・発達障害がある子どもでも受け入れて欲しい。（1年保護者、京都府）
- ・放課後等デイサービス、帰宅時間をもう少し遅くして欲しい。（2年保護者、神奈川県）

### 本当はもっと一緒に過ごしたい

- ・ほんとはもっと一緒に過ごしたい。（1年保護者、埼玉県）
- ・親が平日家にいられたら家遊びをさせてあげられたのになと思う。（5年保護者、兵庫県）
- ・一緒にすごせない。（4年保護者、長野県）

子どもからは「勉強が大変」「ゲームがしたい」という声がある一方、保護者からは「もう少し勉強させたい」「ゲームばかりしないでほしい」などの対極の声があがり、子どもと保護者の声にギャップが見られた。

### 子ども

#### 宿題や勉強が多い

- ・勉強や、習い事が多いので、勉強が大変。(3年、兵庫県)
- ・塾の宿題や学校の宿題が多すぎる。(3年、愛知県)
- ・Too much study and homework (5年、大阪府)
- ・宿題が大変。(5年、埼玉県)

#### ゲームがしたい

- ・もっとゲームがしたい。(6年、東京都)
- ・家でゲームしたい。(2年、福岡県)
- ・もっとゲームがあればいいかな。(5年、福島県)
- ・ゲームがしたい。(2年、新潟県)

### 保護者

#### 子どもにもっと勉強してほしい

- ・勉強をどう自発的にさせるか。(4年保護者、神奈川県)
- ・勉強する癖をつけてほしい。(4年保護者、大阪府)
- ・学習を長めにしてほしい。(2年保護者、兵庫県)
- ・勉強をレベルアップさせたい。(3年保護者、三重県)
- ・勉強を頑張してほしい。将来のために。(1年保護者、秋田県)
- ・宿題など学習習慣が身につけていない。(2年保護者、京都府)

#### テレビ・ゲームばかりで気になる

- ・テレビとかばかりにならないでほしい。(3年保護者、大阪府)
- ・ゲームばかりしている。(1年保護者、愛知県)
- ・ゲームや動画ばかりなので違うこともしてほしい。(6年保護者、福岡県)
- ・メディアに触れる時間が多すぎるため、アウトメディアの管理を親である自分自身がしているが、メディア以外の自身の将来のためになるようなことに熱中してもらいたい。(3年保護者、富山県)

## 子どもの声は「もっと遊びたい」「当たり前前に叶うべき希望」が叶わない現代の放課後。 子どもの声を受け止め、社会全体で放課後の問題解決に取り組む必要がある。

今回の調査結果から得られた示唆は、第一に、放課後における「体験格差」は習い事だけでなく、遊びの選択肢にも表れており、子どもの学びや育ちへの影響が広範囲に及んでいるのではないかと  
いうことです。

また、家庭の経済的な状況によって体験格差が生まれていることは言うまでもありませんが、それだけでなく、世帯年収によらず保護者の働き方や居住地域の環境による差もあるということが伺えます。

共働き家庭が増え続ける現代において、家庭環境や居住地域によらず、多様な体験を得られる環境の整備が求められています。



そして、2つ目の示唆として、小学生の放課後の現状に課題があることが社会的に認知されにくく、対策が進みづらい構造が浮かび上がってきました。

放課後の過ごし方に対する子どもの満足度は肯定回答が77.5%と、数字で見ると低くありません。一方で、「本当はこうなってほしい」という声を聴くと、子どもからは「もっと遊びたい」のに「遊べる場所や時間がない」「友達と遊べない」「自由に過ごせない」といった声が多数聞かれました。私たち大人はこうした声を軽視せず、きちんと受け止めて、社会全体で対応していく必要があると思います。

また、保護者からも「子どもが安心して過ごせる環境（場所や見守りサービスなど）がほしい」「多様な体験や習い事をさせてあげたいが、できない」といった声が多数聞かれました。昔は地域コミュニティのなかで自然と叶えられていた機能が、時代の変化とともに失われており、対策が必要です。

共働き家庭の増加に伴い、「放課後に子どもを預かってもらえる場所が足りない。学童保育に入れるだけでもありがたい」という認識が社会の前提になってしまっている現代の放課後。

保護者の就労のための預かり機能だけでなく、子どもの声を受け止め、誰もが安心して過ごせる居場所と多様な体験を得られる環境を社会全体で整備していく必要があります。

本調査をきっかけに、放課後の課題認知が進み、より本質的な解決策につながっていくことを期待しています。

放課後NPOアフタースクール代表理事 平岩国泰

【平岩への取材・本件へのお問い合わせ先】  
放課後NPOアフタースクール 広報  
Email: [press@npoafterschool.org](mailto:press@npoafterschool.org)